

戦争の話を書いて

ぼくは、戦争の話を書いて

何万人とか何百人の**が**死

びいるの**が**ねが**い**と**き**と**も**

悲**し**、**ま**さ**も**ち**な**ら**し**い**し**た。

玄皇と**い**う**は**、**い**ま**も**も**も**も**も**も

す**ま**、**い**ま**も**も**も**も**も**も**も**も

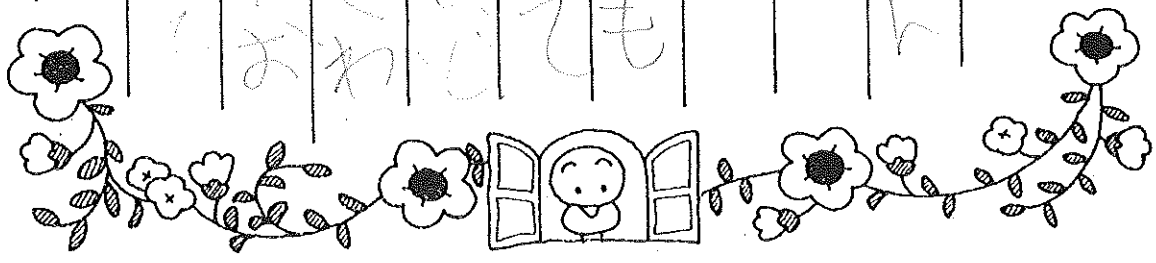
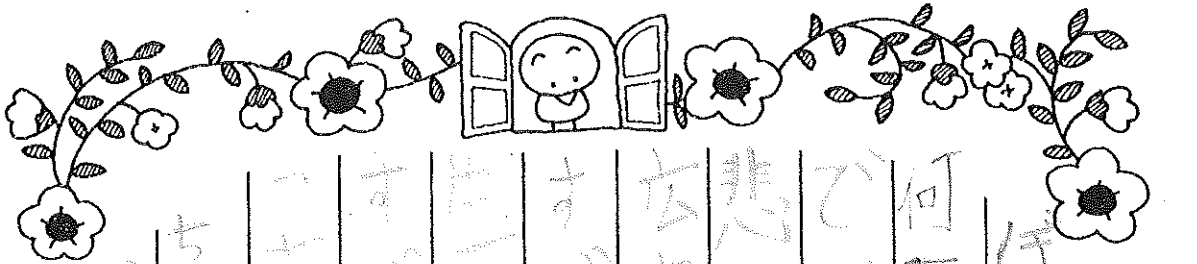
世**に**も**も**も**も**も**も**も**も**も**も**も

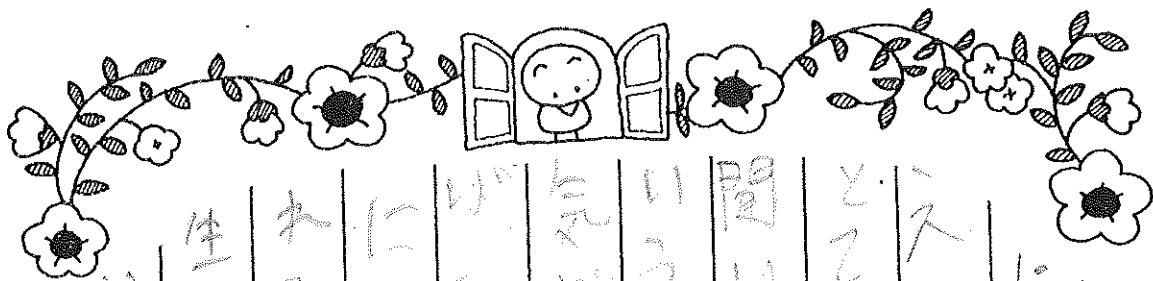
お**も**、**い**ま**も**も**も**も**も**も**も**も

お**も**、**い**ま**も**も**も**も**も**も**も**も

お**も**、**い**ま**も**も**も**も**も**も**も**も

お**も**、**い**ま**も**も**も**も**も**も**も**も





にくがはがえこほねまご見

へえるおトっさうきうすけるたけを

とこもきもち悪くなつたけい話を

聞いっしんちにしきもち悪いし

いうるんがうぢがるくきいせい

とえ掛うちながなくなりました

かくおひきをししてりた時代

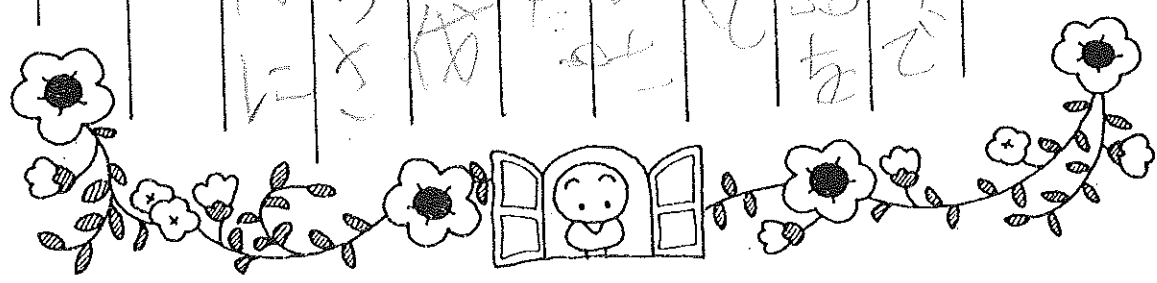
に生えへえりたりもうのころ

えついつるかもと悪うと今の時代に

生ええいこよかつたと思ひ

おまをいいたがりあり

がしうがざいやす





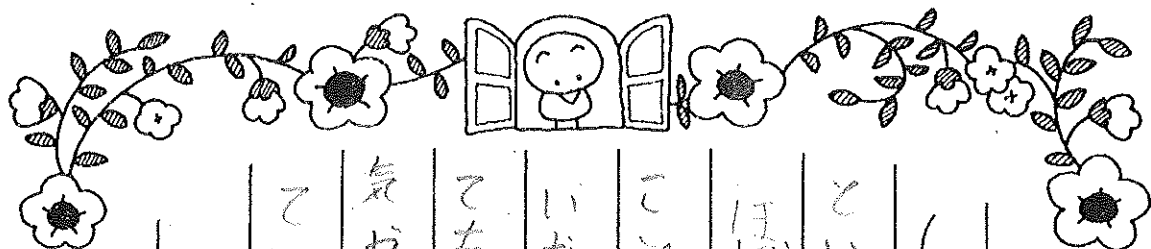
被爆体験者の話しを聞いて

ぼくは、話しを聞いて、びくくりしたことが
あります。それは、ナセオという若さで、しかも進
んで軍隊に入ったと言うことと、原爆でけられた
人の姿が、皮が焼けとけたり、い体から死汁が出る
とか、肉がはりさけてその中から白い虫がわき出
してくるという気味が悪くて相想像しただけで、ぞ
っとします。

原爆はとう下して地面に落ちたときに爆発す
るのかと思っていたけど、実は、空中で爆発し、し

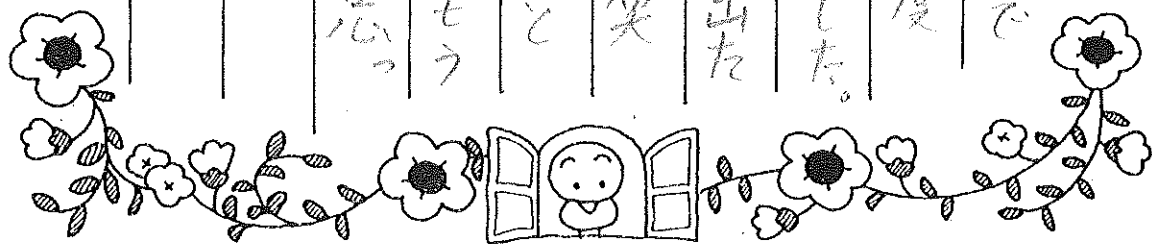
かも爆発する高度も選べるなんて初





めで知りました。また、八百グラムのウランで
しゅん間一万度という高温で外側でも、三千度
という温度を出すと言っているのでおどろきました。
ほぼくは、いまままで原爆で想像絶する被害が出た
ことも知らず、ふざけてかえ歌に「原爆」と笑
いながら言っていました。この話を聞いて、と
ても笑いでとではないと思いました。だからもう
気がすく原爆などと口にしないでいこうと思っ
ています。

島田佳明

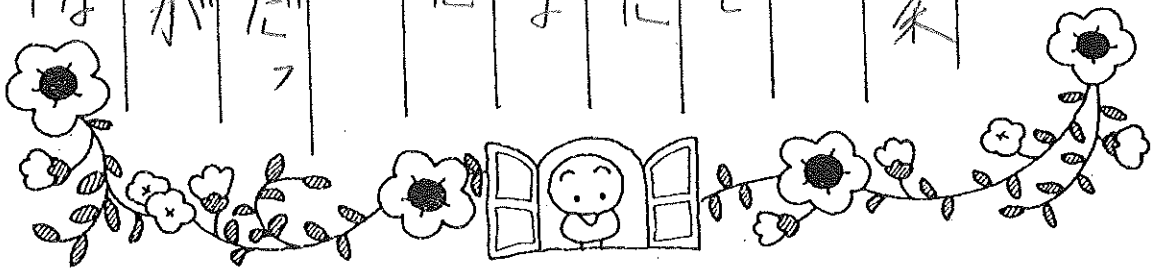


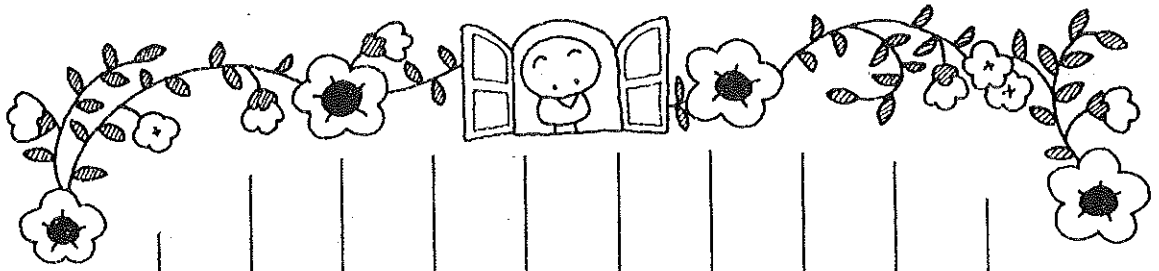


お話を聞いて

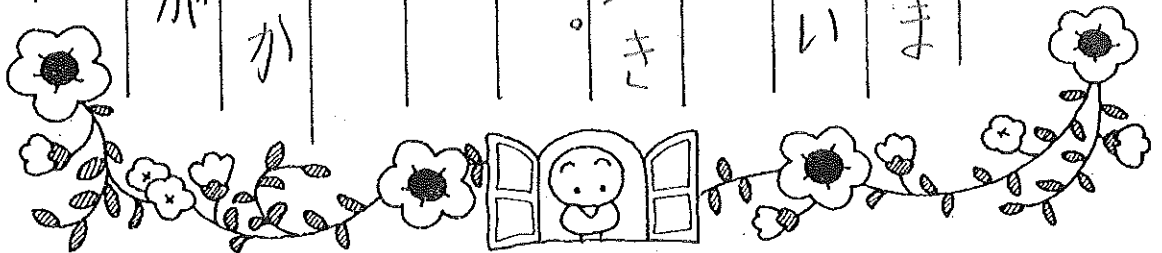
六年二組 矢嶋 麻里菜

私は、戦争のお話を聞いて
とてもおもしろいことだと
思いました。理由は実際に
あったできごとがそのまま
書かれた日記を読んできた
さつたからです。内容は、
思ったより生々しく自分た
らでいきないうようなことが
記されています。こんな





悲しいできごとが実際にあつたとは考えられませんでした。関係のない大勢の方々が亡くなられ、生き残つた方も懸命に生きられたことだと思います。私は改めて戦争は二度としてはいけないことだと思ひました。いつか地球がらなくなり、平和な時代がくるのを願っています。

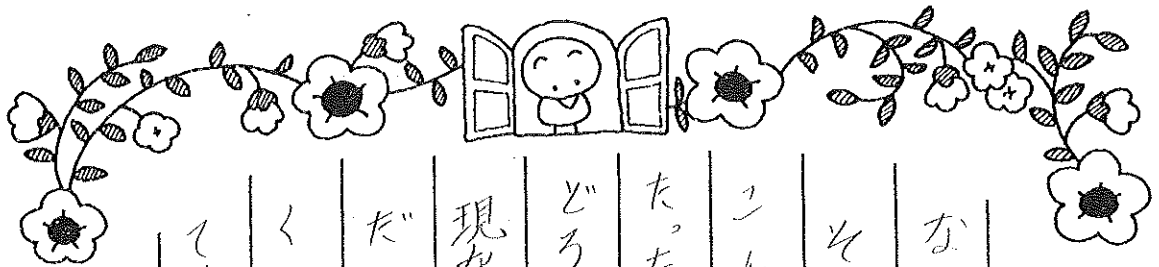


戦争の話を知りて

高橋 ふみ

今回池田さん徳さんの話を聞いて、私は原爆についていろいろなことを知ることかできました。大きく分けて二つのことを知りました。一つ目は、原爆の被害の様子についてです。池田さんの「広島の日間」を聞きました。原爆とうり下直後や、何日か後の人々の様子か分かりました。人が焼けこげたり、皮ふかはかれおちるなど、絵や写真かかなくても、想像するだけでこわくなりました。

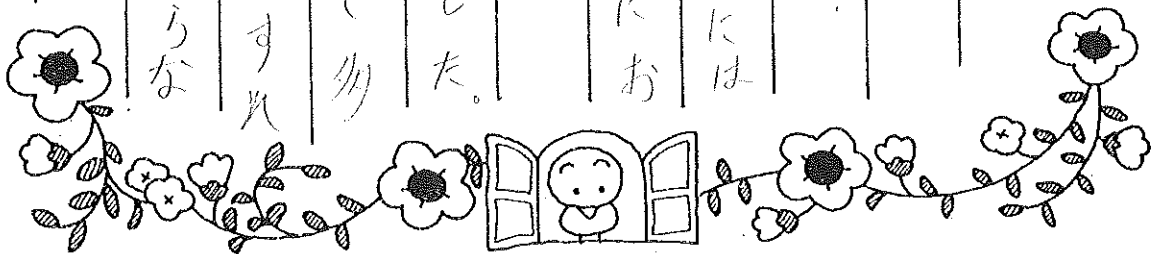
しかし、そんな中でも生きて帰ってくることに



かできた。池田さんのお父さんは、すごい
なと思いました。

そして二つ目は、原子爆弾んについてです。
こんなに大きな被害をもたらした、原爆の中には
たった八百グラムしか核が入っていないということにお
どろきました。

現在、戦争も終わり、日本は平和になりました。
だからこそ昔、戦争があり、原爆によって多
くの命がうばわれたということが、なげきとしてあすれ
てはいけな。未来に語りついでいかななくてはならな
いものだと思います。





広島 原爆

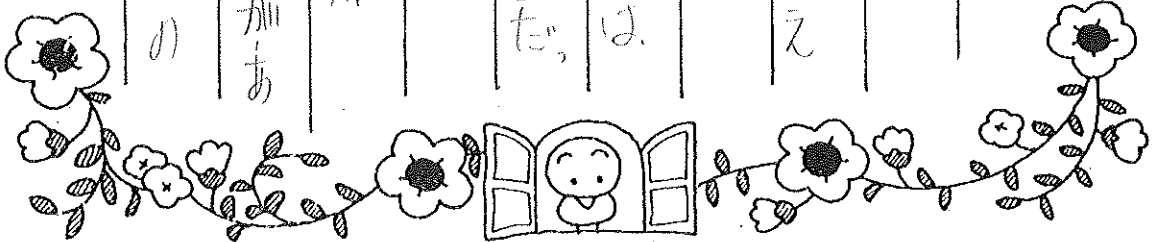
池田さんから、広島 原爆について、おそわりました。

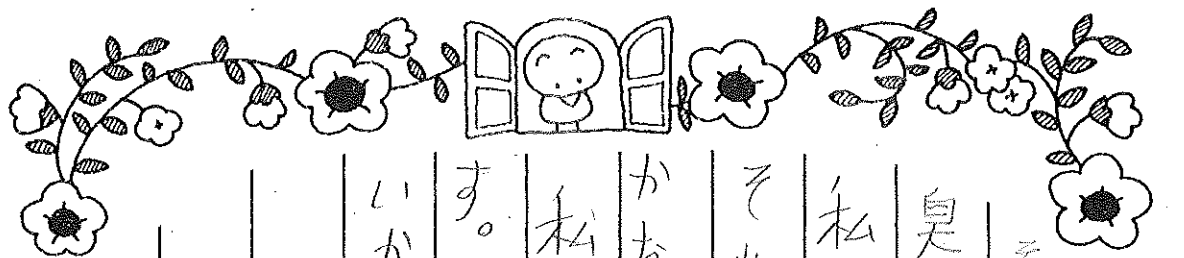
池田さんは、広島におちた原爆をくわしくおしえてくれました。

おしえてもらった中で一番心にのこっているのは、原爆がおちて被害にあつた人が十二万人ぐらいたつたということでした。

原爆で亡なつてしまつた人のきず口には、虫かたとまていたり、また生きているけれど、きず口があるところにも虫かいたつたということが一番心にの

こつています。





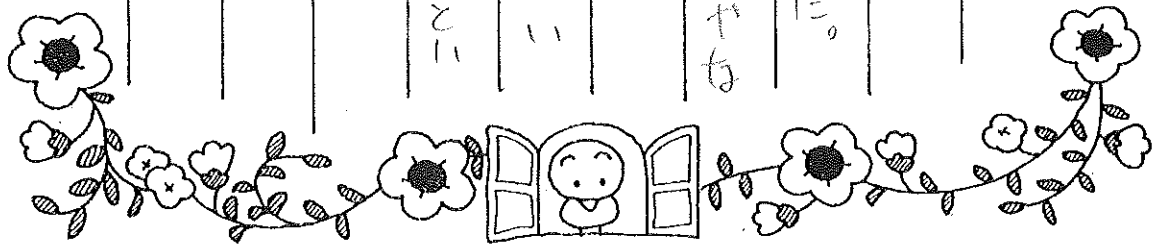
そのほかに、亡くなった人を焼く時にすごい臭いにおいかしたりしたそうです。

私は、兵隊さんかすむいなと思いましたが。

そ火は、けかをして、くるしんでいる人を、いやなかおせおに、あてをしていたからです。

私は、戦争がこのさきおきないことをぬかいます。それは、こ此以上、くるしむ人がいなくなるというからです。

井上 可奈子



戦争について

わたしは、池田さんのお話を聞いて、少し

悲しくなりました。池田さんのお父さんは、広島

に九日間、日記をつけているなんてすごいなと

思いました。その日記をもとに、池田さんは、小説

を書いて、あたしたちに読んでくれました。

池田さんのお父さんは、死体のしょうきよわしりな

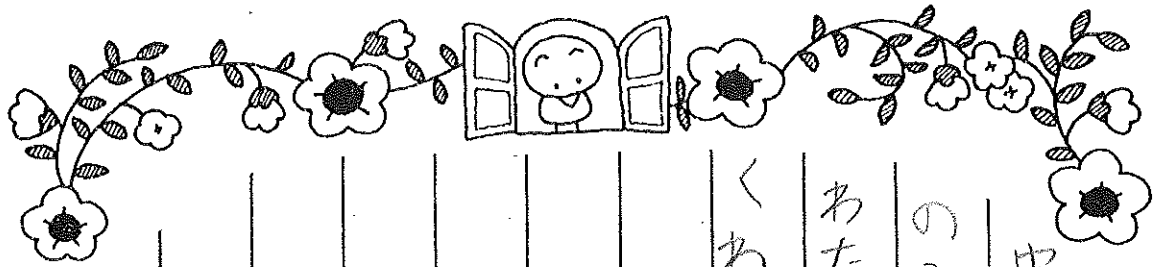
とを広島で行っていたと聞いた時は、びっくりしました。

広島の前原はくのみがいにあった人は、みんな人のあか

たではありませんでした。その話を聞いたと

きは、すごく、おそろしいなと思いました。

ばんばくは、太陽よりあつく、その

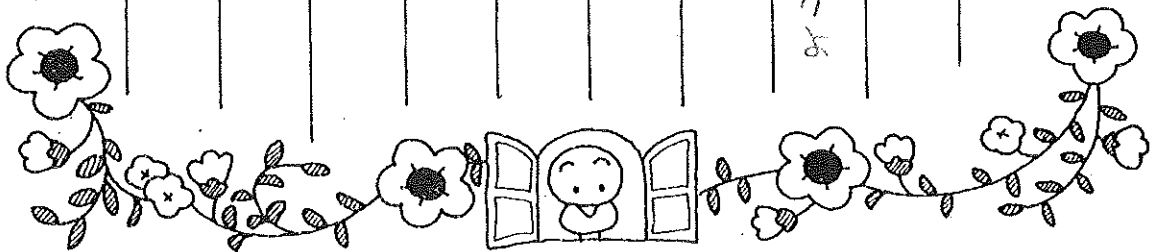


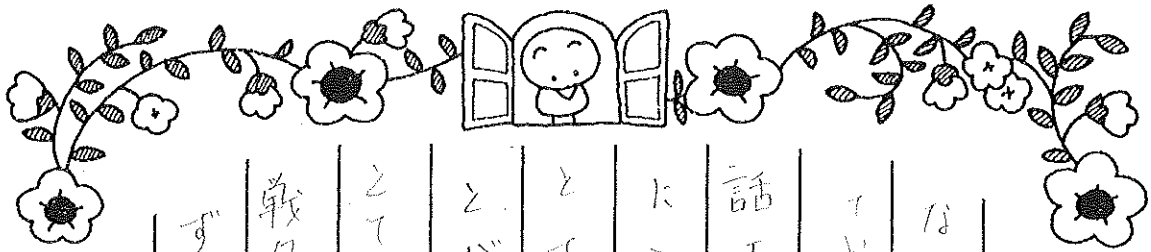
中心部にいた人は、あとかたもなく、いっしょん

のうちに亡くなっていったそうです。

あたしはこの話を聞いて、戦争ということがあ

くありがとうございました。





いたよ。たりの話を聞いたよ。原はくはこん

なにひどいものだ。たんだなと思ひました。た

ていふ母性の足のみさずの中にくじがわいてた

話を聞いた時はおそろしいなと思ひました。又際

にこんなことがふたにおこつたことかと思つ

とすごくこわいのです。私は戦争を体験したこ

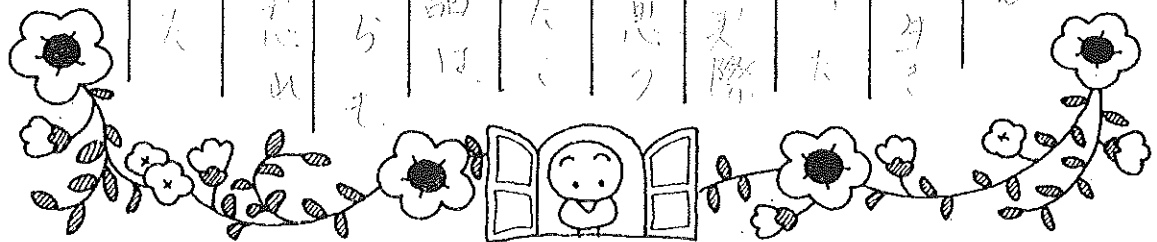
とがあります。だから、池田さんのお話は

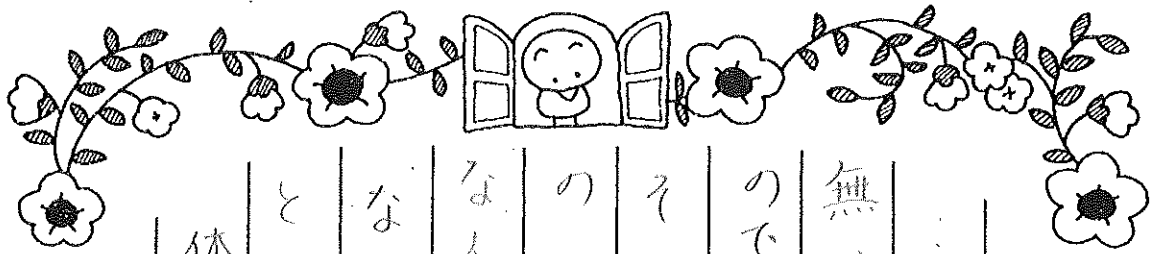
とてもさんこうになりました。こわいからせ

戦争があったことをせむいずい。この話をせむい

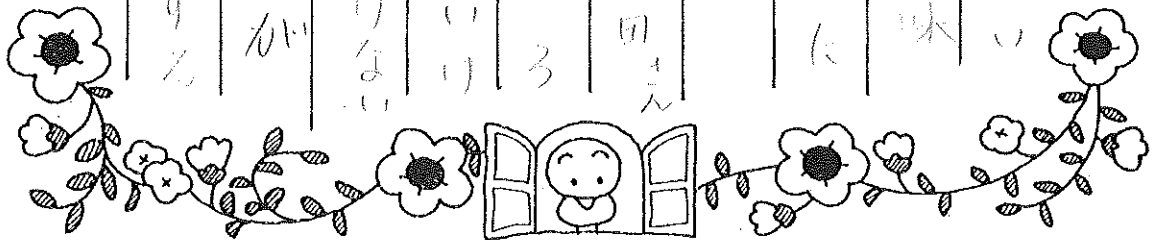
ずい。この話を、多くの人々に伝えていきま

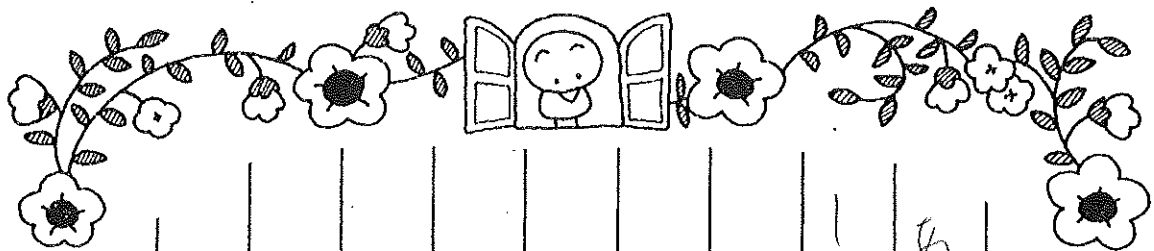
いなと思ひます。石田恭子





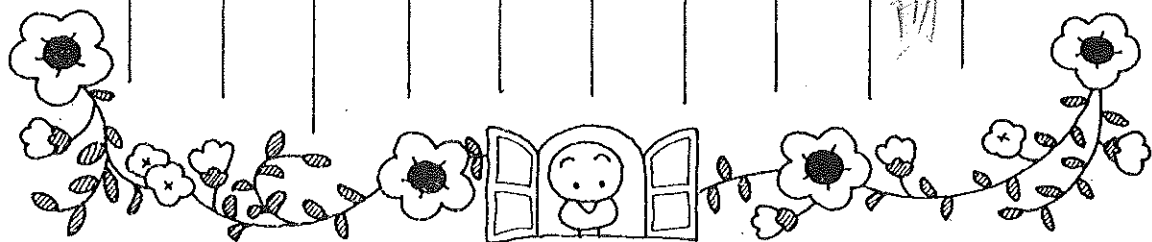
私はこの池田さんの話を聞いてこわい
...と思っました。いままでこわり話に興味
無い。ゆうれいなんて、いない...。と思っただ
の下初めて、すごいこわりと思っました。
そして池田さんの話を聞いたら池田さん
のお父さんが体験されたおはいろいろ
な人にとこのようなことはおこっではいけ
ないと言っことで、話つづけないといけ
ないと思っました。あと池田さんのお父さんが
体験したことは、そうかっを...する
ような世界だったと思っます。





ただとえんな中でし池田さんたらか
あの女煙を助けた事にとっても感動
しました。

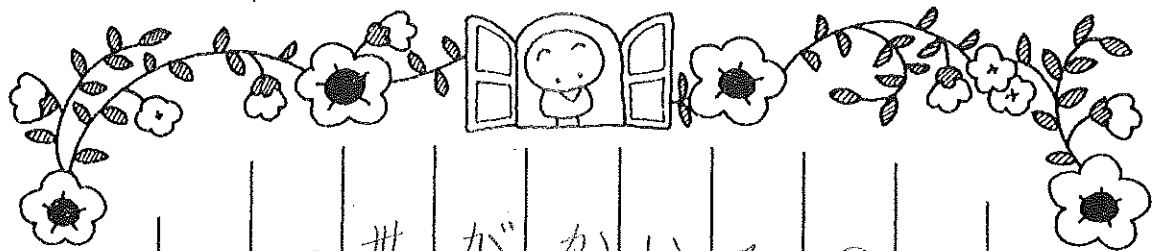
豊泉 星沙予



戦争のお話を

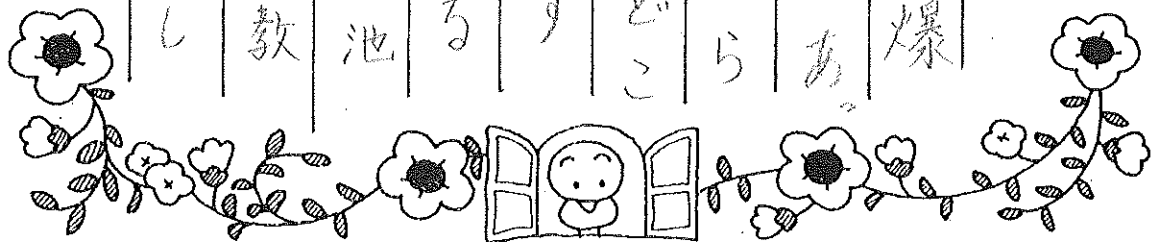
聞いた感想

私は戦争のお話を聞いて、原爆の恐ろしさを学びました。最初に話してくださった被爆した方の姿を聞いた時は、とてもを。としました。また水が一瞬にしてふ。とうするといふことを知った時は、とてもおどろきました。人や植物や虫や町を一瞬にして焼きつくす、原爆の威力は計り知れません。原爆は、絶対にあ。て



はならない物だと思いました。

そして私は、もっと多くの人に原爆
の恐しさを知ってもらい、絶対にあ
るはずないということを感じてもら
いたいと思いました。まだ世界のどこ
かでは戦争をしている国があります
が、将来はみんなが平和に暮らせる
世の中になってほしいです。最後に池
田さん、戦争の本当の恐しさ、怖さを教
えてくださって、ありがとうございます
た。

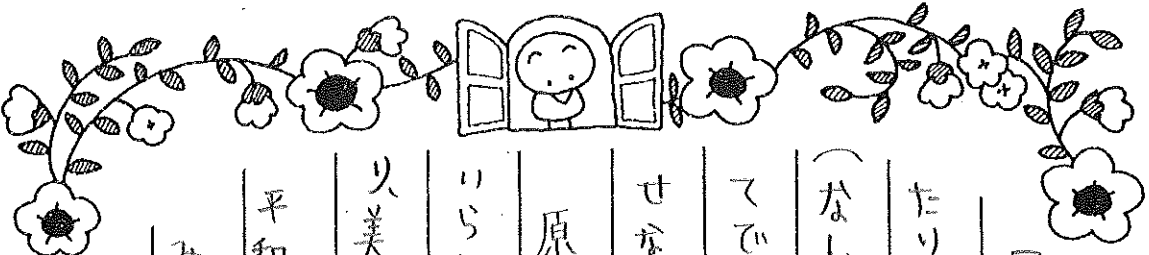


池田 眞徳さん

池田さん、九小でのお話 ありがとうございます

うございします。私は池田さんのお話を聞いて、戦争のおそろしさ、戦争はあってはいけないもの、ということを改めて感じました。「ヒロシマの九日間」を聞いておどろくことばかり知りました。テレビなどで見たり聞いたりするのとは、内容が、まったく違うかいらです。原爆のおそろしさを生で聞くことができると、あまり体験です。

私たちは、今、学校で「戦争」について、調べ学習をしています。そこで、戦争がおこる原因



困って調べてみました。すると、土地が欲しか、

たりばいほう金かほしか、たり・じと書いてありました。その時
(なして、自分勝手なんだろ!) と思いました。そんなことがあ
てで、何人も人がせくなると思っていると、そういう人がとてもゆ
せなくなりました。

原爆。あか名はリトル・ポイヒとバッドマニ。原爆は、そんな、かわ
りらしいものでは、決してない。だが、そんなものをどうして人々はつ
り、美しい広島と長崎におとしたのか、理解できません。

平和が一番です。この平和がいつまでも、つづくように、
みんなが、ゆずりあって、りけばいひの……と、思います。

今回は本当にありがとうございました。



戦争学習目の感想

私は戦争学習をしてすごくこわい

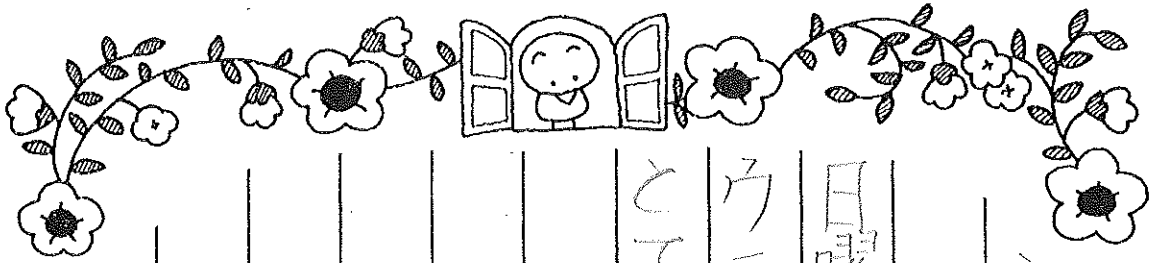
ものだとおもいました。

つのはぐだんでたぐさんの人がなくなつてしまつて、すぐがわいそつでした。

ウラン、プルトニウム、といつ、おむずかしいところもあつたワ、いろいろ知れて、良かったです。

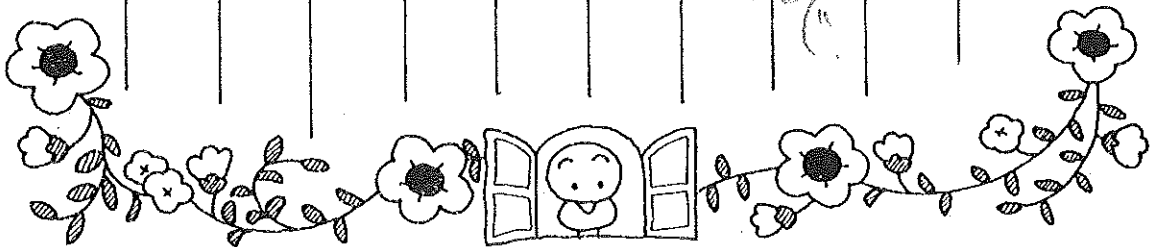
日本では戦争して、いなくても、他の国では、まだ戦争をして、いるから、

未来は、もと平和な国がいはい



みえるといいな。と、思っています。

日曜日に、TVで北朝鮮のばくでんで
ウランと、プルトニウムを、使っていて、
とても、役に立ちました。



戦争のお話しを聞いて

私は戦争のお話しを2回聞いたことがあ

ります。ムラビオ2のお話し会

ラビオで聞いた時は少ししかこわいしか

思わなかったけど、このお話しを聞いてとてもこわ

いと思いました。

特に、原子爆弾がおそろしくなりました。

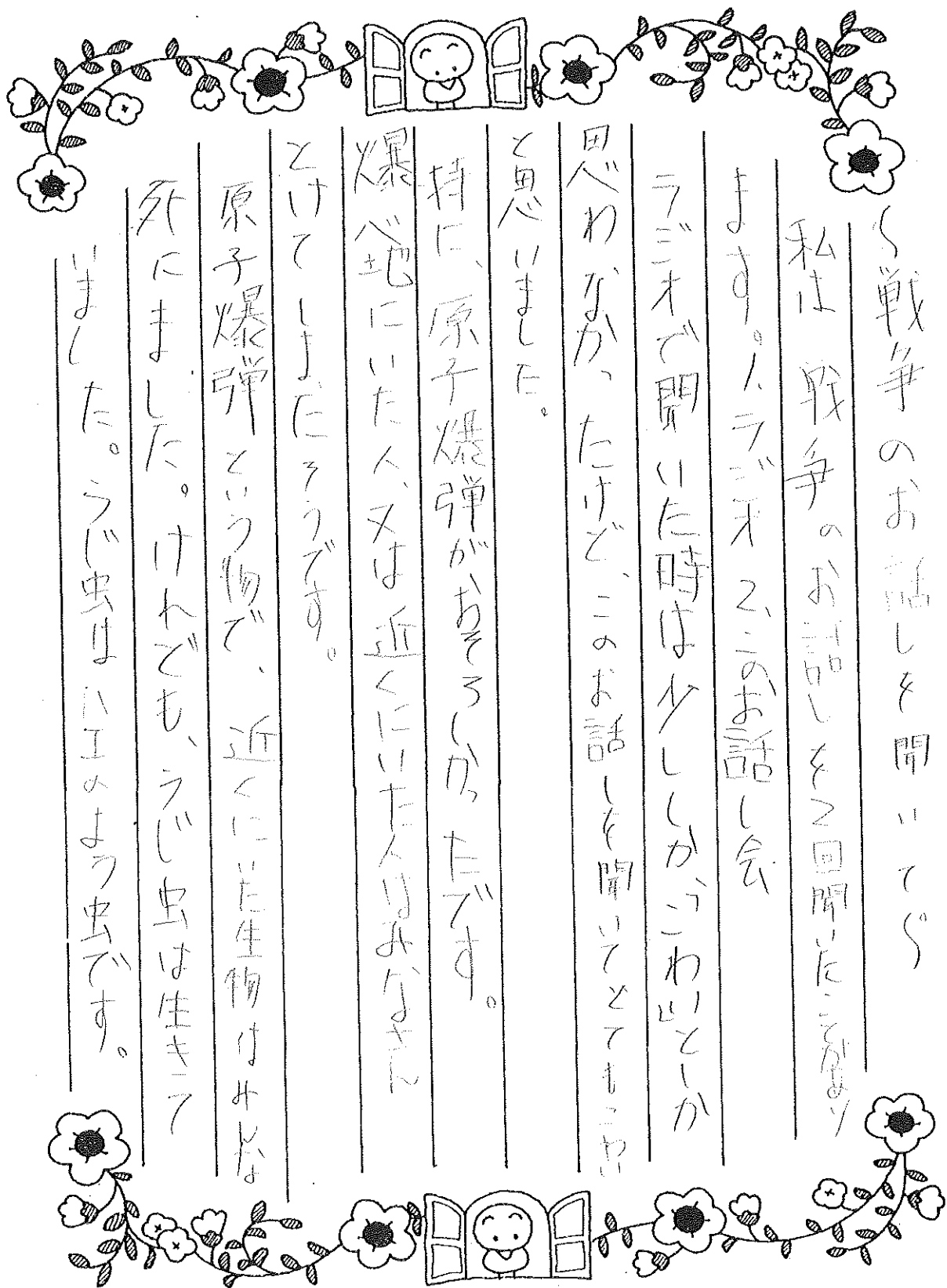
爆発地にいた人、又は近くにいた人、みんな

こけてしまったそうです。

原子爆弾という物で、近くにいた生物はみんな

死にました。けれども、うじ虫は生きま

りました。うじ虫はハエのよう虫です。



すぐその生物が死んだのにながらび虫
だけ生きていたのか、不思議です。

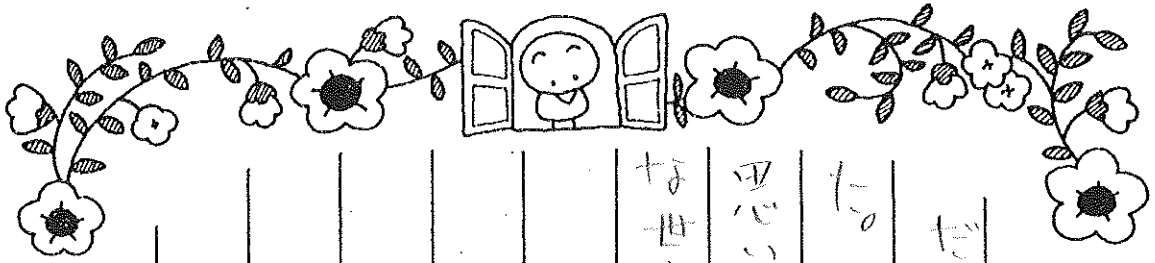
これから先、戦争があったら事を知らな人が
が増えると思います。なので私たちが次の人たち
にニコニコ伝えてリウと思っています。
日本はとてもおそろしい事をしてきました。
この事をあきらめずに生き延びてリウ
と思っています。

く相馬唯央里く

池田 貞徳さんへ

立川第九小学校にいらして下さりありがとうございます。
ました。私はヒロシマの九日間のお話を聞いて、戦争
争についての考えが変わりました。たまたまテレビドラマの
やっていたのを見たら、はまりましたか、お話を聞くのは
はじめてでした。広島の実情を次々と耳にし
私は敬馬さんと恐柿の連続でした。一番怖かったのは、助け
ようとして、手をさしのべると、皮がむけてしまった
という所でした。そういうことが六十三年前にあつた
は思いませんでした。

私は今だに戦争をしている所があるの



聞いたことがありません。だから日本が平和

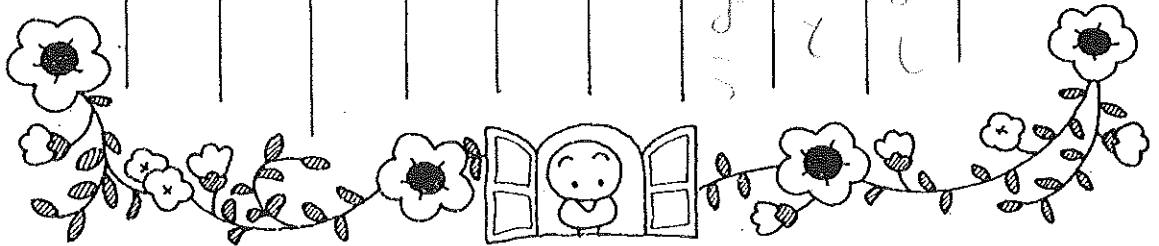
だからそれでいいと考えるのやめよって思ったりし

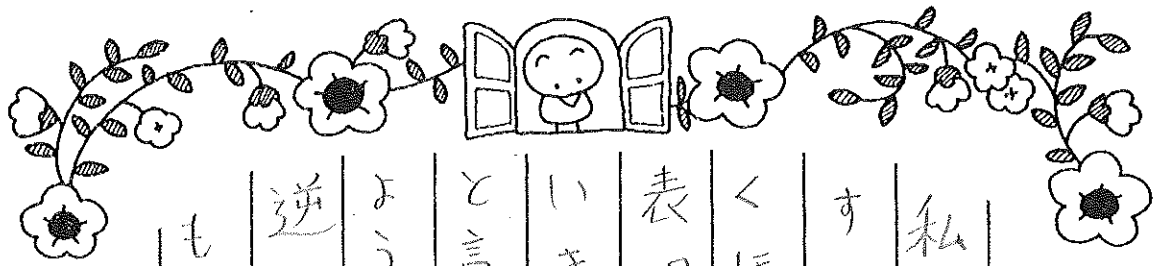
た。地球全体で争いが無くなった時、本当の平和だと

思えます。将来戦争という言葉が無くならないよう

な世界にしたいです。

永谷 若菜





池田さんの話しを聞いて

私は池田さんの戦争の話しを聞いて

すこし怖くなりました。爆心地に近づ

くほど、人が人の形じゃなくなていくという

表現が人々の怪我。火傷のひどさを語り

いきました。火傷がひどくて皮膚が剥がれる

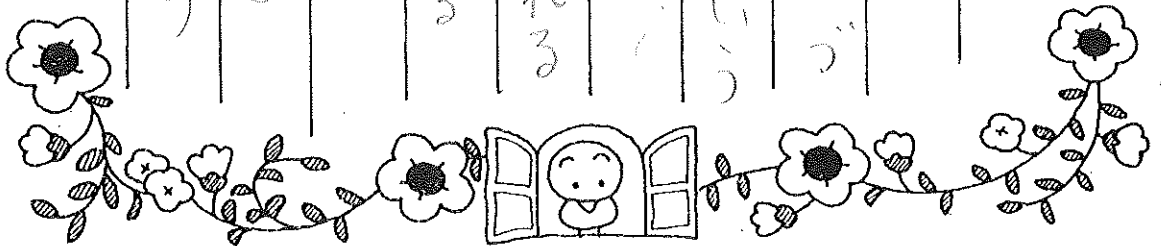
と言うのも、想像でも目をつぶりたくなる

ようなもので、それを現実で見るなんて

逆に想像がつかません。原爆の原理など

もお話がある。その時に水爆の話があり

ました。水爆は今ある爆弾のなかで





一番、威力のある核爆弾だと池田

さんは言っていました。私はその時、なぜ人類は

そんな物を作り出したのか、わかりませんでした。

広島と長崎に落した原爆だって、とても大きな被害

が出たと言うのに、なんでそれ以上の力がある爆

弾を作る必要があったのか、疑問と言おうより不

議に思います。日本は戦争をやらないと決めた

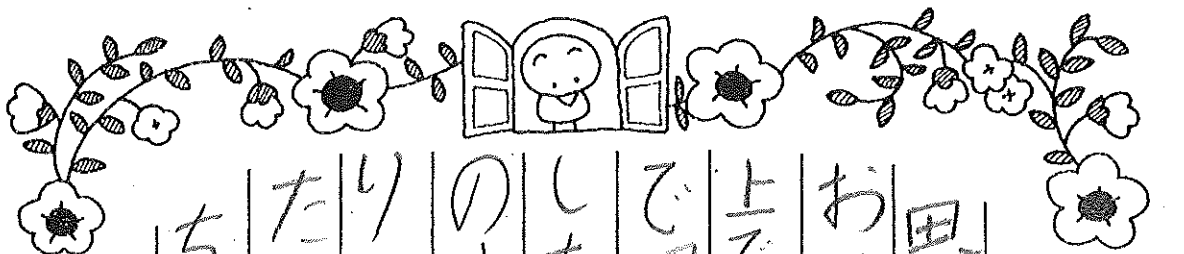
いますが、いつどんな過ちを繰り返すかわかりませ

ん、そのために日本を一言で左右する天皇・総理

大臣をして、未来にむけて私達、子供も日本が

いい国になるよう、がんばりたいです。

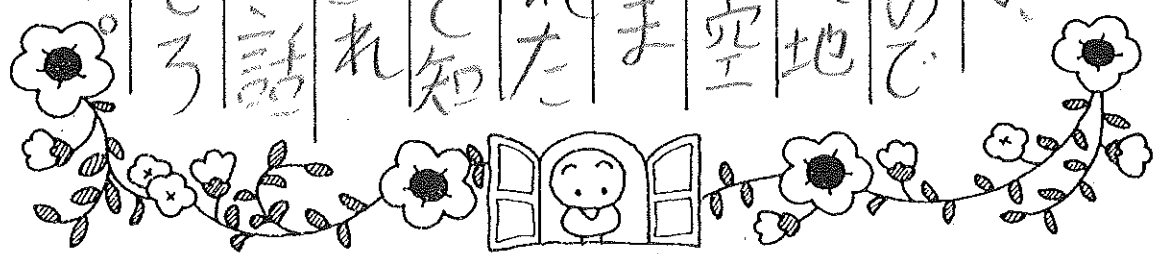


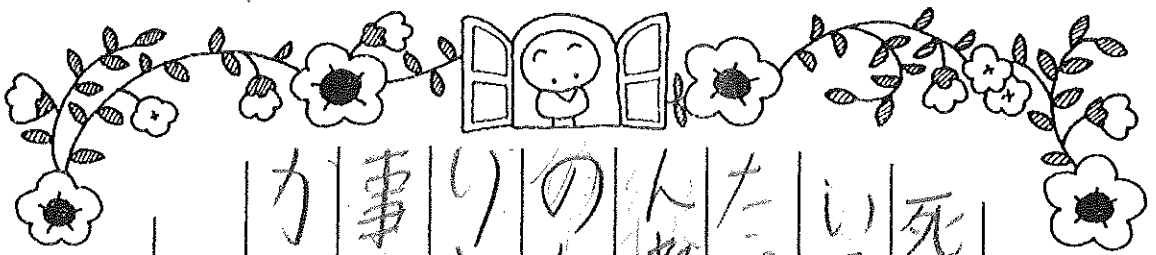


被爆体験者の話を聞いて。

ぼくは、原爆の話を聞いてぼくが

思っていたよりもおそろしいもので
おそろくなりました。ぼくは、原爆は、地
上で爆発したのかと思っていたけど上空
で爆発していたと聞いて勉強になりました。
した。あと広島と長崎で落とされた
のは、種類がちがった事もはじめに知
りました。そして原爆が落とされ
たあとには、すごい被害があったと話を
聞いていくなかで本当におそろ
しいものだったと思っていました。





そして兵隊さんたちは、ひ害地で
死体をかいしゅつする仕事をしたと聞
いてほくならたえられな^いと思^いまし
た。あて原爆のしくみや原爆は核分
んれつで出るエネルギーが死の兆信
のかが集まったものと聞いて勉強にな
りました。原爆の話^を聞^けて原爆の
事^をた^らさん知^る事^ができ^て本^当によ
か^った^です。

6年2組 松村 竜希

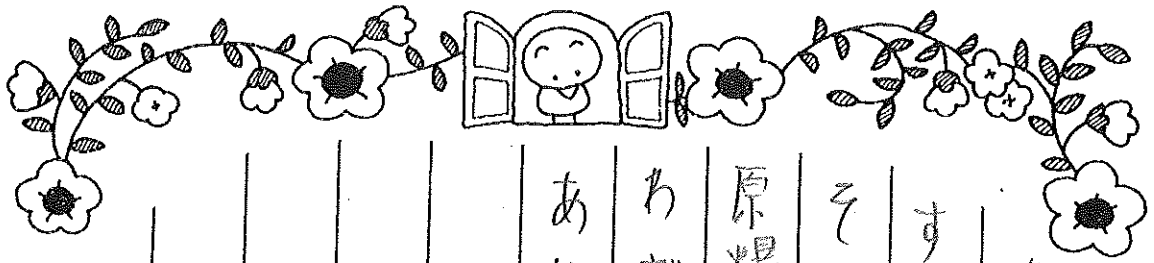


戦争学習白

ぼくは、池田さんに、戦争の恐しさ、悲しさを
教えてもらいました。

池田さんのお父さんが恐しく悲しい体験をした
という話しを聞いて、今でも、その情景
が目にうかびます。広島に原爆が落ちる
とは、思ひもしなかつたと思ひます。でもその時
に、原爆の熱風などで、死に至らなくて、本当に
運が良かったんだと、田心います。

水にもぐつても原爆の熱気で、水がふつと
して、大勢の人外死人、下しまふやんで、
原爆の恐しさがよく分かりました。



池田さんから聞いた話をずっとお

すねたよりようにしたりです。

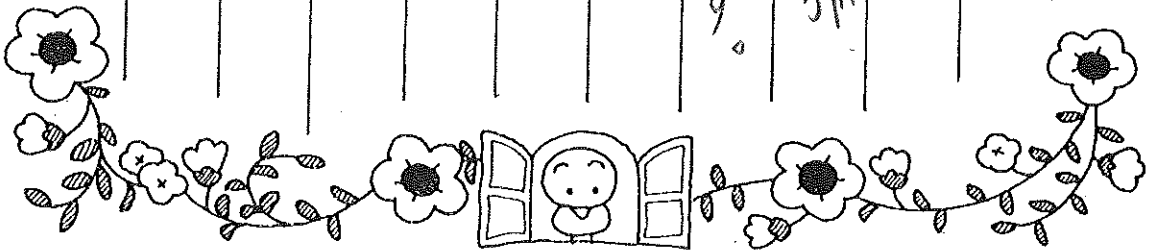
そしてこれからも世界中の国々か

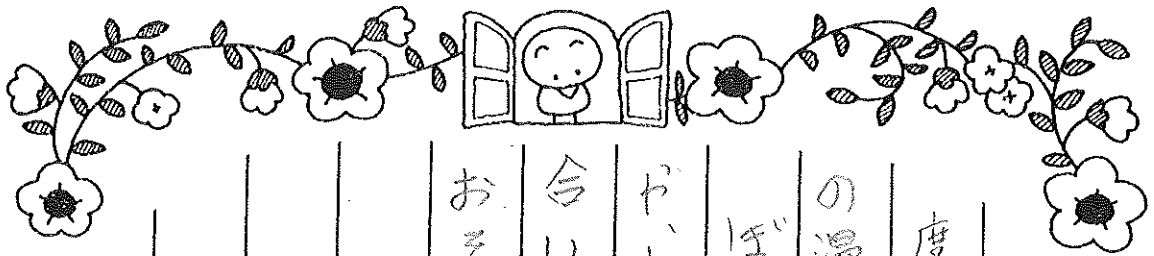
原爆を使わないうようにして欲しいです。

わざわざ学校に来ていただき

ありがとうございます。ありがとうございました。

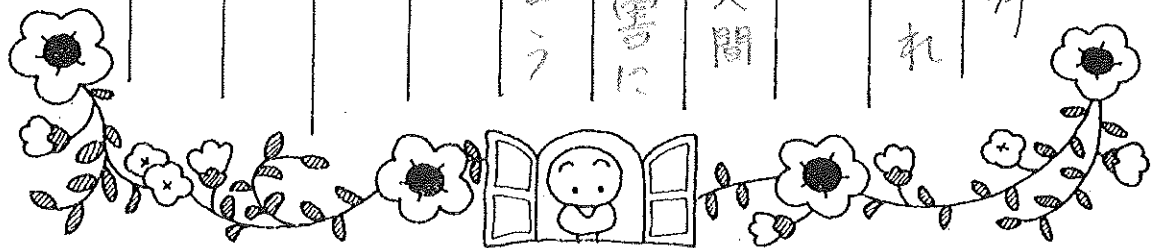
612 堀 曉生

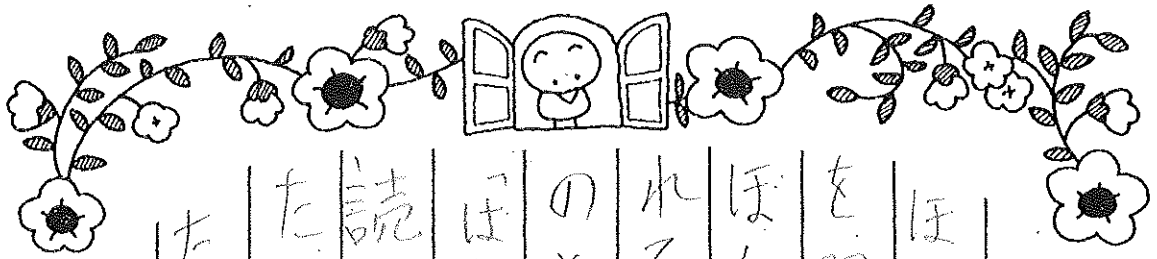




そして何よりも、原爆の中心温度が1千万度もあり外側でも3千度というけたはずれの温度でびっくりました。

ぼくは、原爆がとう下された、広島、長崎は人間が、車、建物などありとあらゆる物が被害に合いそして最終的には骨にもなくなってしまうおそろしい爆だんだと学びました。





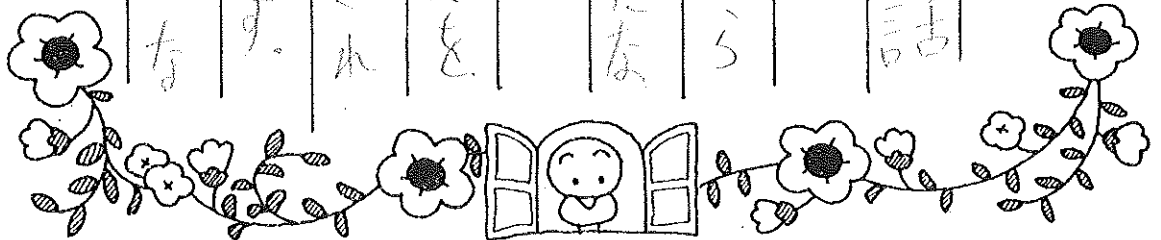
6年2組 後藤 涼 直六

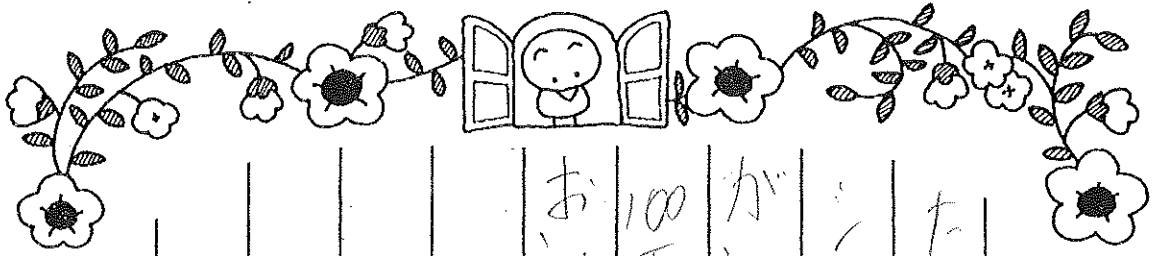
ぼくは池田しんとくさんのお父さんのお話を聞けてよかったです。

ぼくが知りたかった刻がどうやって作られたかというのかどのくらい被害が出たなどの事が分かってよかったです。

ぼたしのたこという戦争のまんがを読んだことがあり池田さんが話してくれたものと同じようなものが出てきます。

たしんはこうをなめにたろしなからトラウマの運転車さんに





「たすけて」と言おうでもひっばっ
たらひひがスルツとサ落ちてしまふとい
いんが出してききました。その方にも刻
が刻分れつを起こして太陽より熱い
10万度又を起るとは知りませんでした。
お話が聞けて嬉しかったです。





池田さんの話を聞いて

僕はこれまではだしのゲン^レなどの本を

よんで原爆^爆についてよく知っていると思っ

ていました。しかし、今回池田さんの話を

聞いてぼくはとてもおどろきました。なぜなら

自分のしらなかつたことをお話されたから

です。また、原爆を受けた人がどのよ

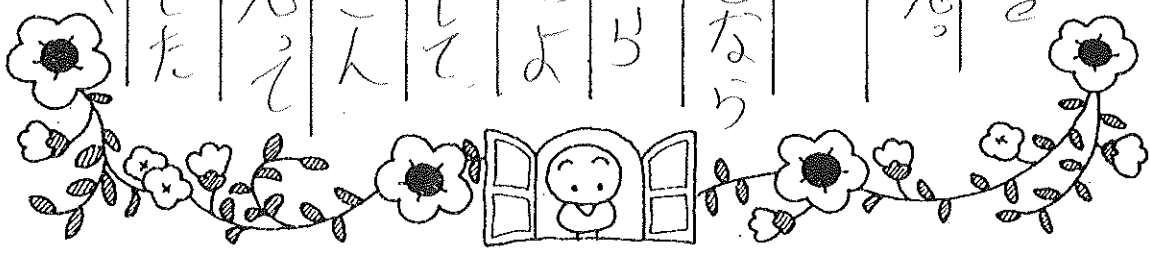
うにおどろくなりになったのかをお聞きして

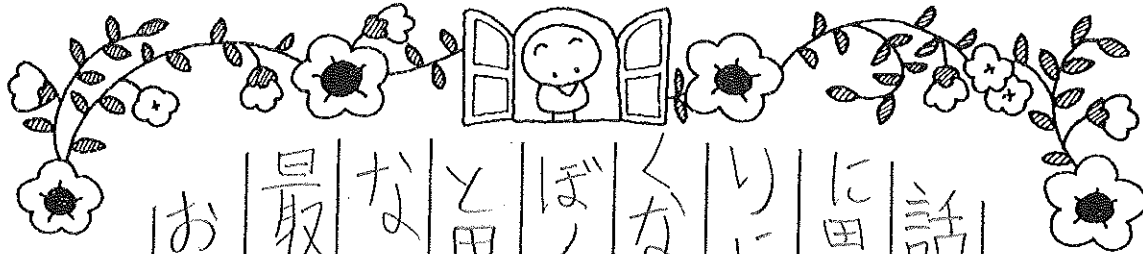
とてもおどろきました。こんなむかし

におどろくなりになってしまつとは思って

もしなかつたからです。また、被爆した

中地の所はおよそ一町度ほどになり、





体が完全になくなってしまおうというお

話を お聞きした時は、とてもかわいそうに
思いました。なぜなら、そこでお亡くな
りになった方の生きていたあかしがな
くなってしまうからです。このお話を聞いて
ぼくは二度と核兵器を使ってはいけな
いと思ひ、また、戦争を二度と起こしてはいけ
ないとも思ひました。

旦那後になります。が、ぼくたちに原爆の
おそろしさを教えるくれた池田さん、
本当にありがとうございます。

6年2組 桜井 優





被爆体験者の話を聞いて

ぼくは、池田さんに聞いて、色々わかったことが
あります。それは、男性が二十才以上の人は、軍隊
に入らなければいけません。いまのぼくたちには、
ありえないことです。

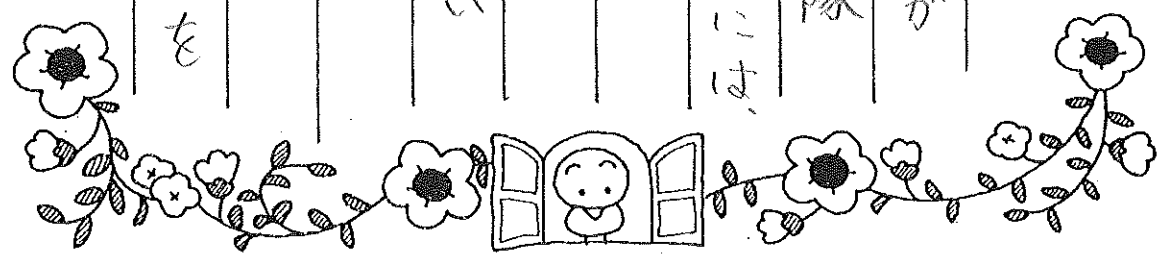
あとは、原爆です。

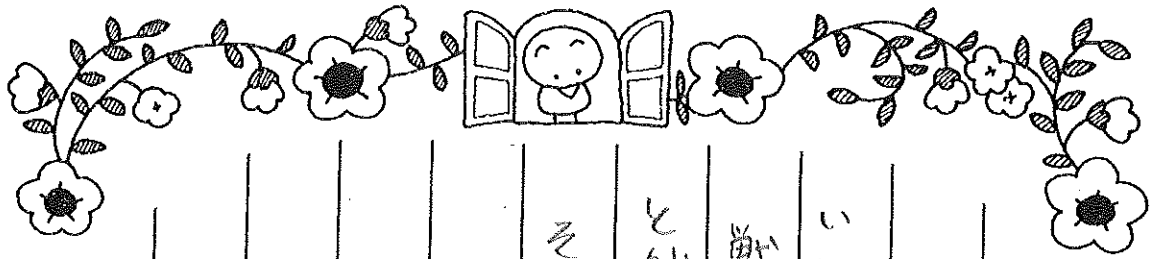
一つのぼくたんで命を落としたり、体に悪い
放射線をあびるので。

それに体の皮がはがれたりするのです。

それを池田さんは、命を落とした人の処分を

九日間もやっていたのは、つらいし、



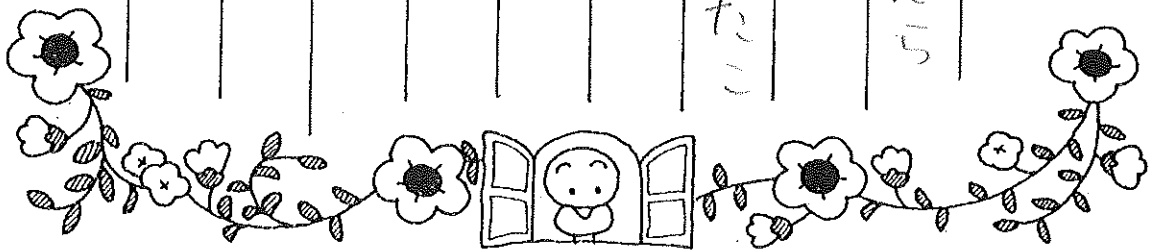


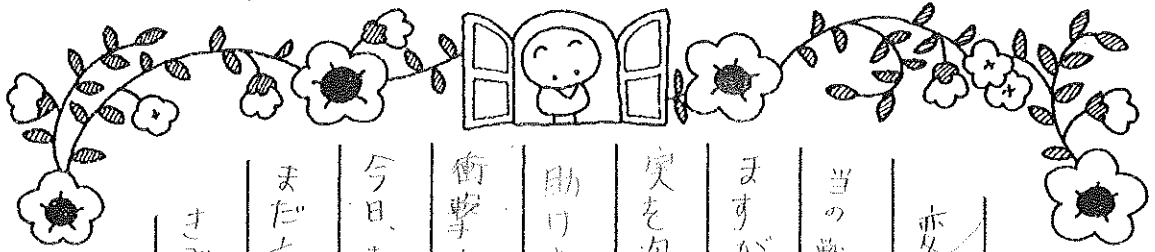
悲しいと思っていました。

一人の女性の介がをしているのを、助けてえら
いと思えます。

戦争を体験した人に色々聞けて色々わかったこ
とがいっぱいあります。

そのことも、いろんな人に教えていきたいです。





私は「ヒロシマの九日間」のお話を聞いて戦争についての考え方が

変わりました。私はこの平和な平成という時代に生まれました。だから、本

当の戦争というものを知りません。テレビなどでやでるものを見たことはあり

ますが、話しを聞くのははじめてでした。いままでに聞いたことのない広島の子供

実を次々と耳にし、私は驚きと恐怖の連続でした。中でも一番怖かったのは

助けようとして手をさしのべた時、皮がむけてしまったということです。聞いた瞬間

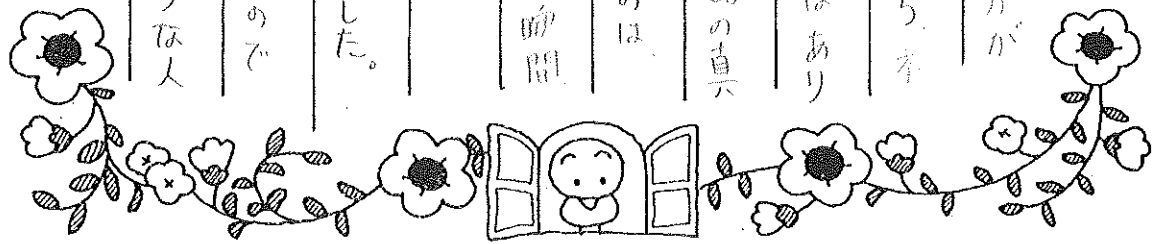
衝撃を受けました。

今日、お話しを聞くまで戦争を昔にあたのたのたと思っていましたが、うかいました。

まだ六十年しかたつてなくて、地球の歴史にしたら、一分、もしくは一秒前ので

きごとになるのだと思います。なのに今の時代を生きる私たちのような人

が、こんな昔の事などと考える、こんなかんかくをもっている、いいの

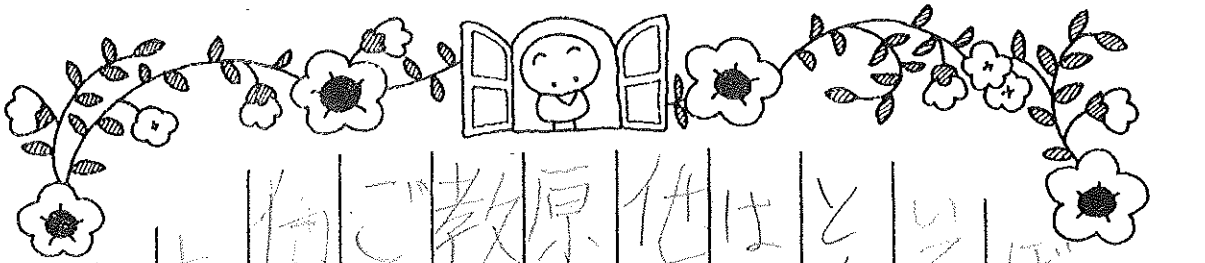


か不安になります。

地球全体で戦争がなくなつた時その時本当の平和がおとずれるのだ
と思います。だから私たちが平和な世界を実現させて、将来「戦争」
という言葉が耳に入らぬような世界にしたいです。

池田さんもおれからもたくさんの人たちに戦争のおそろしさを伝え続け
てください。

長い時間私たちにいろいろな事を教えてくださり、本当にありがとうございます。



池田さんへ

ぼくは、ひばく体験の話聞いて

いろいろなこと学びました。

とくに水素バクダンの爆発の法

はずごくためになりました。

他にも原子バクダンの材料、

原子バクダンのいりなかなんか

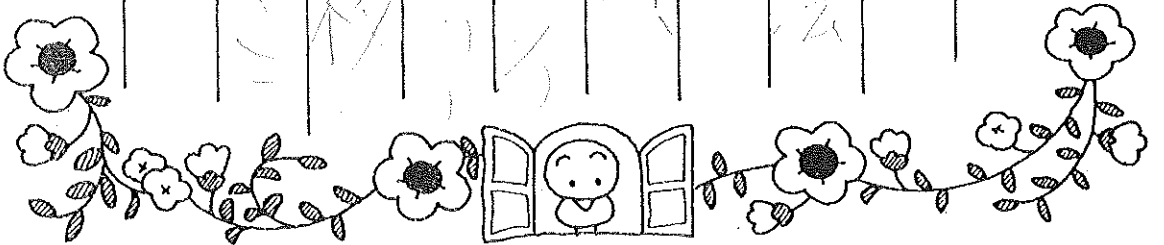
教えるところださってありがと

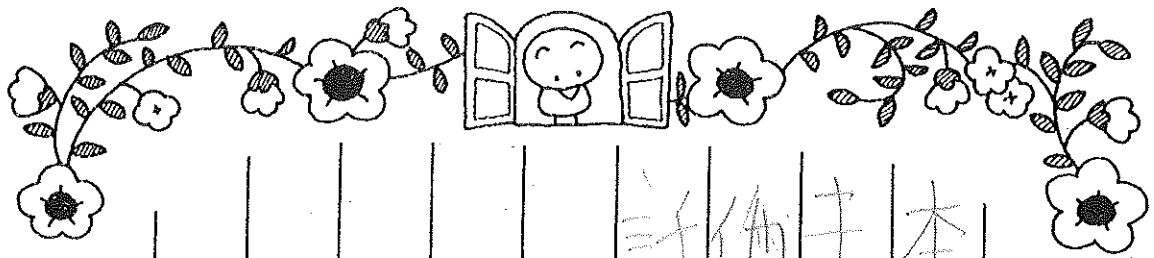
ございませう。他の小学校

へも行って戦争のやむじや

なを教えるといるとい

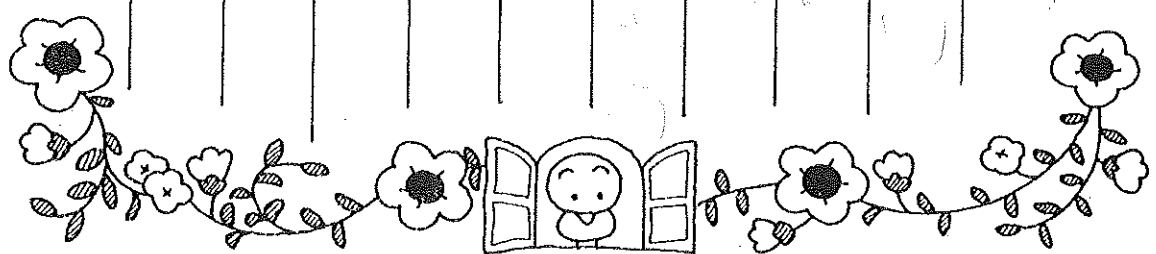
て行くは、すこい人だなあ





と田じい、ました。池田さん
本当にありがとうございました。
ましました。でしてこれからも
他の学校にも行って戦争の
話しあたるをかんばってください。

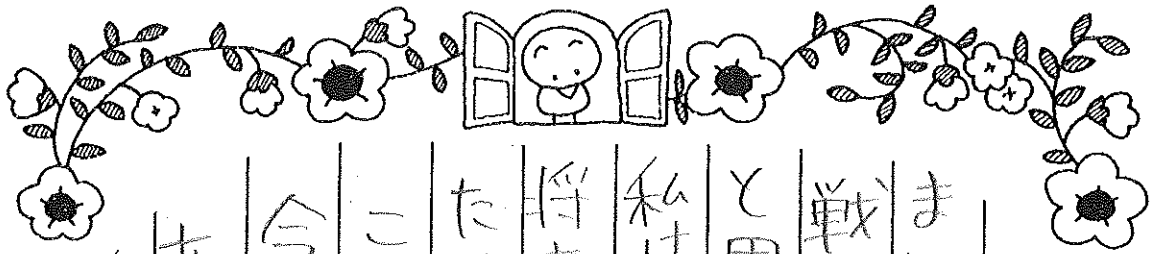
こい2 吉岡 輝



池田 貞徳さんへ

九小へ来ていただきありがとうございます。
いました、池田さんのお話を聞けて
とても勉強になりました。

本や調べた資料にはのっていましたが、
事を教えていたこともありません。
ありがとうございました。
戦争というものを
やってしまったのか、気になって調べてみると
土地を手に入れたために戦争をやること
が宗教の違いにより起こす戦争と書い
てありました。兵隊という理由で戦争をやる
のは自分か、ただなと思いました。

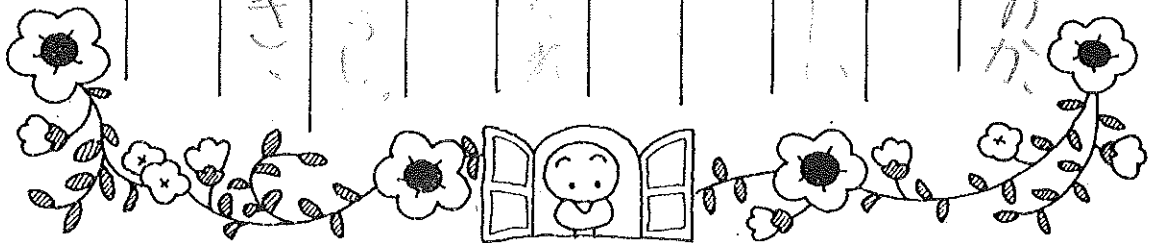


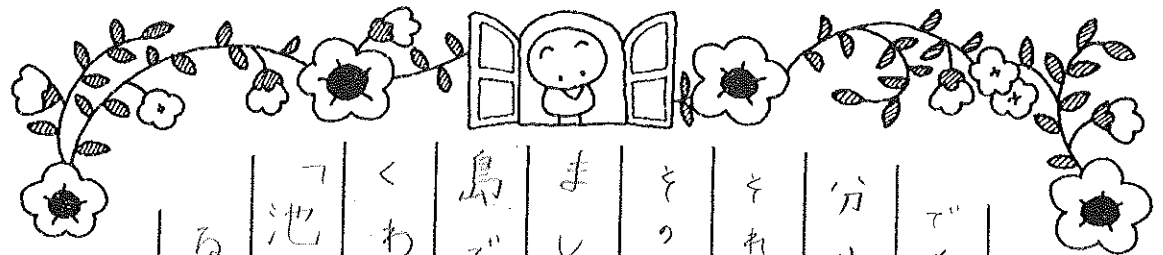
「戦争」というものがどんなにおそろしいものか、
またどんなに死者がでてくるか。
戦争をやっている人たちに考えていたけど、
と思いました。

私は世界が平和なら、そのままずっと
将来、未来もこの世界が平和でいてく
たら本当に嬉しいです。

これからでも平和がずっと続きますように。
今回は、丸小に来て話をしていただけ、
ありがとうございました。

6年2組 定達 絵里奈





『戦争の話聞いて』

私は最初(戦争なんて...)と思っていました。

でも、授業など色々調べているうちに疑問が

分かった事が出て来て、少し興味を持ちました。

それから授業や家、図書館で調べました。

その中で、「原子爆弾」と言う物に興味をもち

ました。その原爆が落とされたのは、長崎と広

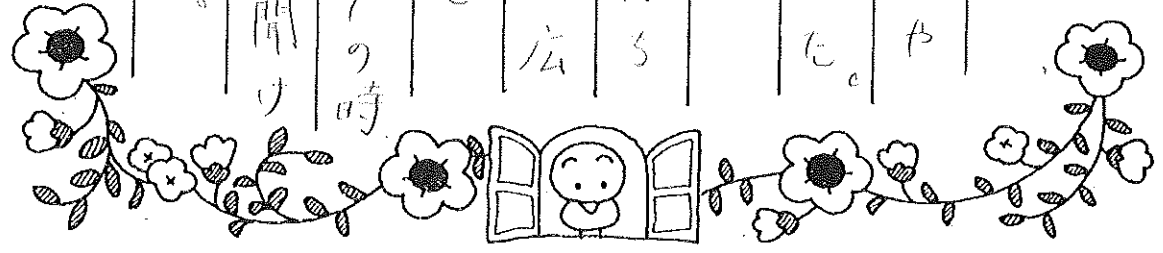
島でした。その時(かわいそう)だと思いと、と

くわしく知りたくなり、てしまいました。その時

「池田と真徳さん」と言う方に、広島のお話が聞け

ると聞いて、とてもうれしくなりました。

と真徳さんのお父さんが体験したそうです。



17才で入隊した事はとてもすごい事だと思ひました。
 原子爆弾。突然の出来事だ。たと思ひます。
 助りようとした人々が取れてしまふなんて想像が
 つきません。言ひ方が悪いですが毎日毎日爆弾の被害
 にあつた人々、片付けをしてる日々が九日間続けられたのは
 とてもすごい事だし、少しかわいさうだと思ひました。匂いや
 人々の手が取れる風景を毎日毎日見なくてはほほらほほは
 ともかわいさうだと思ひました。私かきんなど、たゞ絶
 体無理だと思ひます。池田さんほとても強い人だと思ひ
 ました。後、原爆の種類などが知れて良かったです。

一人の女性がケガをしていてキックを
 おぶ、でも「助りよう」と言ふ人持るが

すごいと思ひました。その人から手紙が来た。帰るさうだ

それに対して、しっかりと返事を書いた事も、ごいと思ひます。

池田さんにと、てば、とても長い九日間だ、たと思ひます。

その九日間にたえた池田さんは、とても強い人だと思ひます。

ひ、こつ「勇気」がいると思ひます。池田さんには、その「勇気」があつた

事も、ごいと思ひます。人間のあつらひが、洋服にしまつてもおろ

さひか、た事も、ごいと思ひました。池田さんは、ごい所だ

らけです。私は、見なさいます。池田さんを、ごいもわすれ

ません。池田さんと池田さんの息子さん、も眞徳さんで、原爆の美術館

に行つた時、何もしなさい事も少しこわいと思ひました。

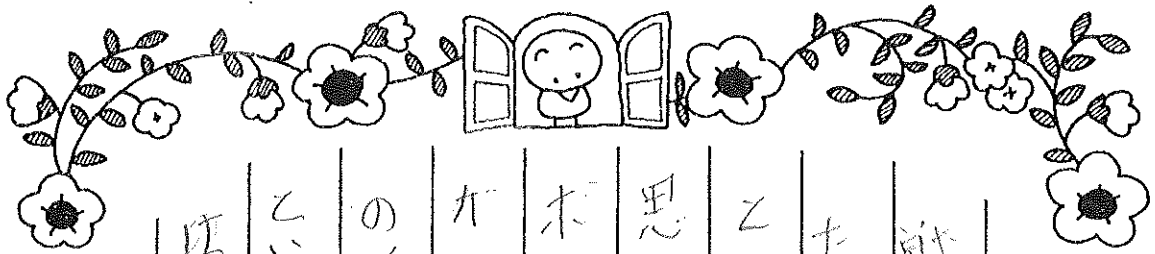
わい、たごした人を表現する人物が、こつ美術館で同じです。

その美術館の人の表現が、キレイで池田さんが一言「キレイすぎる」とこつ

言葉を聞いて、その方がこわいと思ひました。私には、体験出来るはずだ

こつ日の事を、わすれずに戦争があつた事も、わすれずに、生きていこうと思ひます。

池田さん、も眞徳さん、ありがたうございました。



ぼくは池田さんの戦争のお話を聞いて

戦争にあたり、人は運はどのようにして生きのび

たのだらうのとおもいました。なぜかというところ、広島

と長崎に原爆はくち落ちて、人はどうして生きのびたのか

と思いました。広島におちた原爆は、ノートル

ボーイという原爆で、ウラン原爆という種類

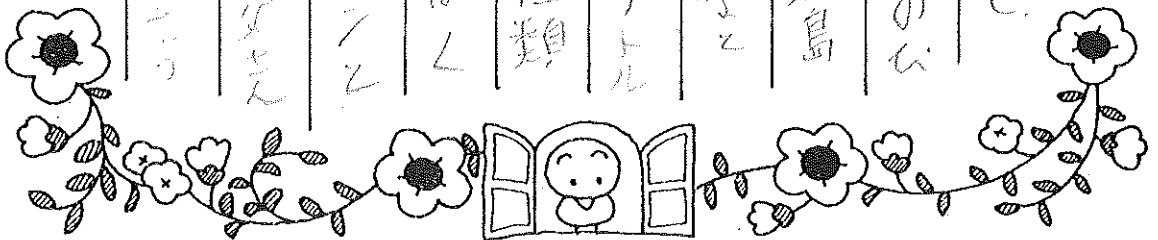
が広島に落ちた原爆で、長崎に落ちた原爆は

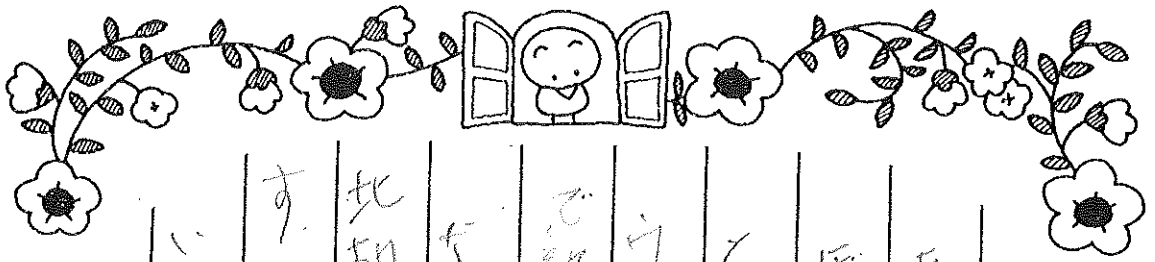
の種類は、カルトニウム原爆といふ、インコジニ

という名前がつけられました。池田さんのお話を

は、兵隊さんで、死体を集めていて、2日ぐんぐんという

と死体から、うじがわいてきてたさたさた





ホキきました。死体介ふうじがわいてきて

ホもき悪る介、たて思ったんをほうか。

ほんはたごとこん戦争なんとしほしくない

と田んいます。なぜかというて、ゴルフボールより、ホせい

ウフン介、ばんはっして、巨万人といいん

で殺した介です。

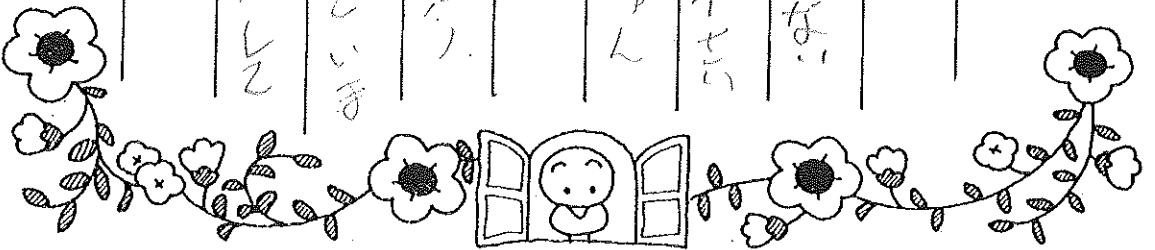
なのをほんは戦争には反対です。けれど

北朝鮮と介反了んを起こし、戦争になろうとレこいま

す。なので、ほんは戦争にならないうちに、努力して

いく必要がないと思ひます。


にどこへいかな。戦争なんとおきてほくないと思ひました。



戦争について聞いて

私は池田さんに戦争の話を聞いて、分かったことは、広島にけんぱくが落とされたのが八月六日の八時十五分で、川などに入って死んでしまった人を助けろのいうでをつかんだら、やりどしたかわがべうと（は）がれおちてしまったそうです。私はこれを考えただけで、おそろしいと思いましたが、それでも池田さんのお父さんたちは、にげださず、「ずいごいなあ」と思いました。ばくどんが地上でばくはつした理由は、多くの人にひがいをあたえようとしたからと、池田さんがおしえてくれました。

私は戦争なんてしてはいけないとおもい

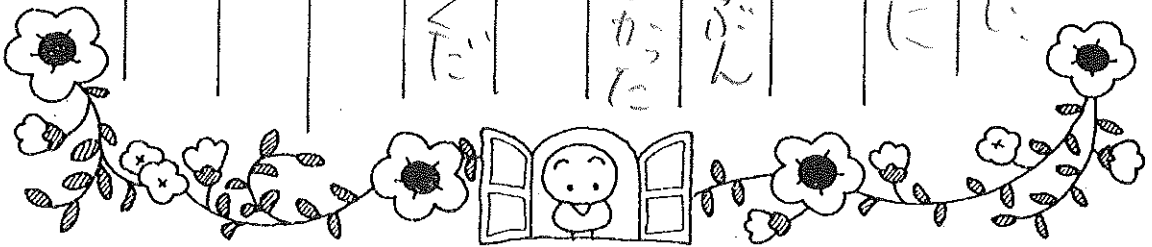


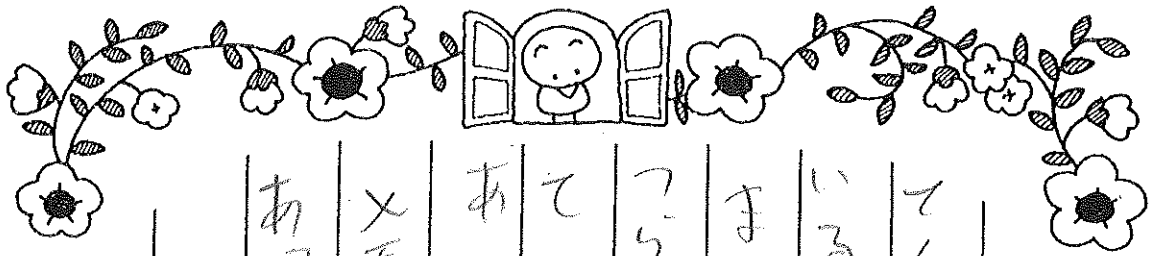
ます。なぜなら、多くの人達が、ひがいにあ
くろしんだり、悲しんだりするからです。戦争に
いおなしてないと思います。

なぜ、日本は戦争なんかしたの、私を知るとたぶん
ろくでもないと思います。でも、勇気をもって立ちむかっ
た、丘士はすごいとおもいます。

わたしたちのために、長いあいだお話ししてくだ
さってありがとうございます。

六年二組 高野 茜





池田さんも戦争学羽目を色々とおしえてくれてありがとうございませう。今やっている学羽目も池田さんのおかげです。ありがとうございました。池田さん戦争の事を色々とおしえてくれていろいろがったってこれてありがとうございませう。本当にありがとうございます。その文たくさんメモを取る事ができました。戦争はあってほいけなさを回りました。

カーニ長田つばさ

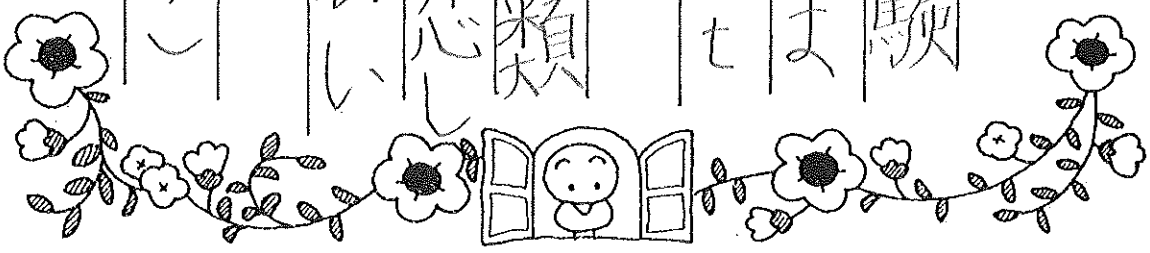


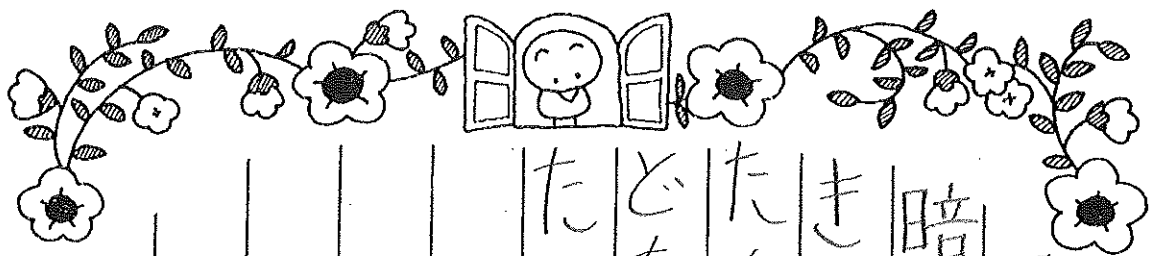


「広島と長崎の原爆」

私は五、六時間目に被爆体験者のお話を聞く授業をやりました。爆弾が落ちるのに、千七のものが入っています。それを聞いて私は「はい種類があつて逃げた人はすごく非心しいな。もう戦争はやめた方がいい。」と悲しくなりました。

「広島や長崎の雲は「き」の「雲」と言うおそろしい





雲です。へとてもいやだ。

暗い空だから明るくして
きたい。しと私は感じました。
たくさんの人が大ケがをしたな
どを聞いて「こわいな」と思いまし
た。

岩崎 史華



原爆

原爆は爆発した時が約五万度、

地上にとどいた時は約三千度です。

二人なにおそろしい爆弾だとは知りませんでした。

この爆弾が日本につつま落ちたなんてもんは

れないです。今では、広島と長崎に落ちた、

原爆よりもっと強い原爆が作られていきます。

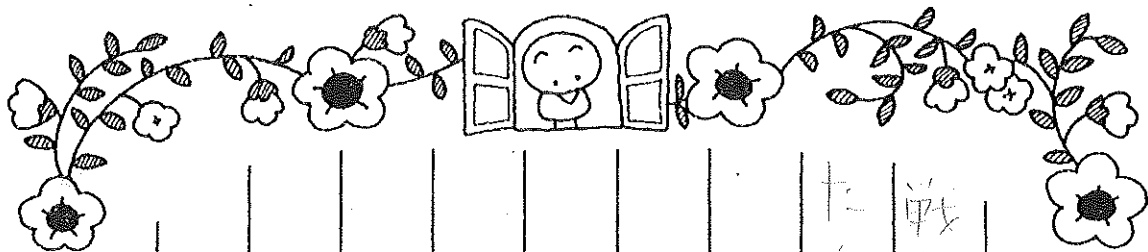
そんな原爆を落とさなければ日本は消滅してしま

います。だからこれからはずっとたいに戦争をして

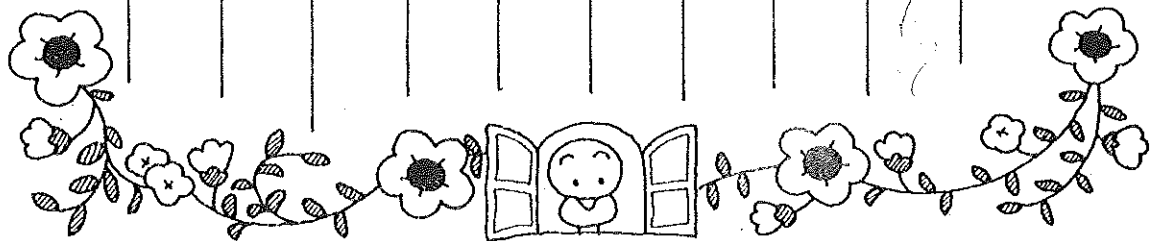
はいけなくてはいけません。もしよまてしま、

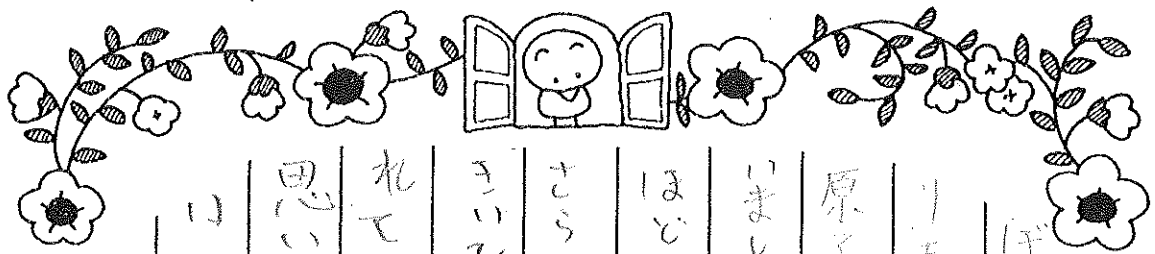
被害を最少限にまかせたりして

広島と長崎であつたところは二度く



あすたてはいけなさいと思います。そして、
戦争と云うものは何か、原爆と云うのは何者かと
たふし人のくんに知ってほしいと思えます。

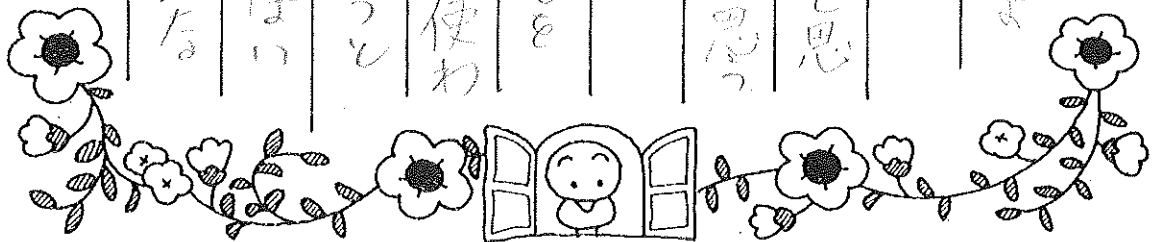


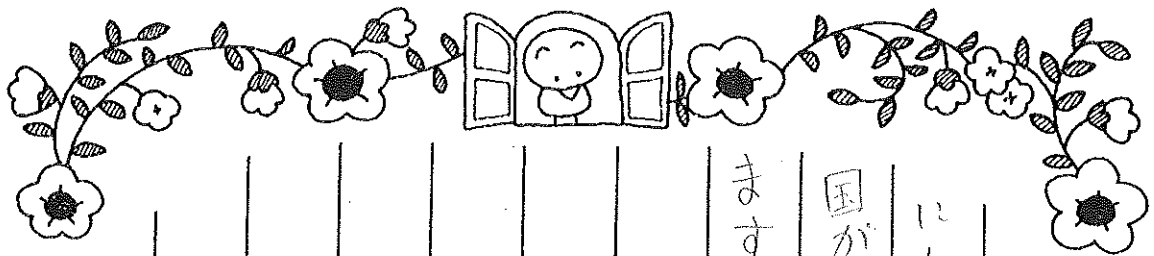


ぼくは戦争時の話を聞いて、学校で話したこともよ
りも、ひどくて悲しいものだと知りました。

原子爆弾を落とされたとき、物かげにいて助かったとき、はよかったですと思
い、またが爆心地での話を聞いたとき、この世の物ではないと思っ
た。ひどい話で聞きたくありませんでした。

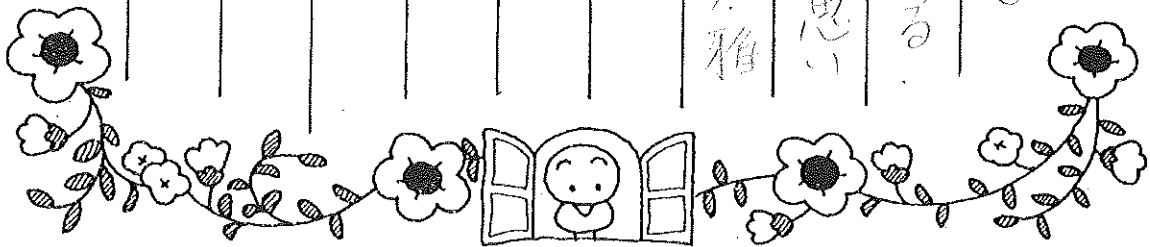
さらに、原子爆弾より、イカの強い水素爆弾があることを
きいて、びっくりしました。日本以外で原子爆弾が使わ
れていると聞いた時は、なんで日本に落とされたんだろうと
思いました。川に飛び込んで死んでしまつたという人が、はばい
りて、運び出すのは苦いと思ひ、ぼくには考えられな
いと思ひました。戦争さえ始めていなければ、





こんなことにはならなかったのだから戦争は悲しいこと
にしかるうたいともうと思いましたが、今も戦争を止めて
国があるので、この世の中から戦争がなくなるといいなと思っ
ます。

浅野人雅



戦争 宇羽白

ぼくは、この池田さんの戦争

学習を受けて一番興味を持、たのは

源次員カ爆弾、源爆です。

源爆の被爆国は日本だけだ、たのを

初めて知りました。日本だけがなく、

他の国も被爆していった田舎、ていきました。

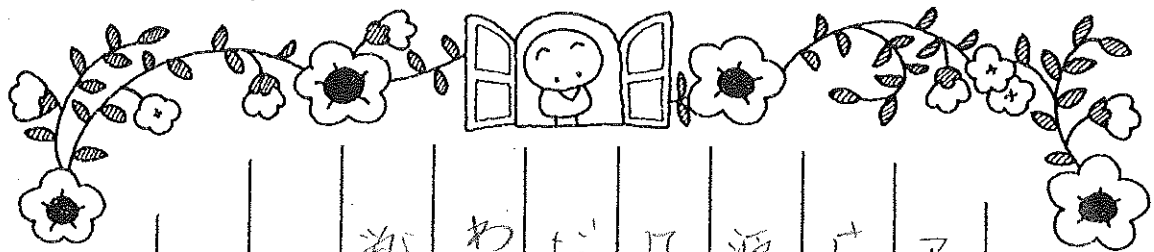
でもぼくが思うには、きり言、て源爆を

おとしたアメリカにありがたく思、ても

良いかもしれ、ません。た、てもし源爆が

おとされていなか、たら今、でも日本は

戦争をしてい、たかもし、れま、せん。



でも、被爆者がうして見れば
アメリカは憎いかもしれまん。

広島と長崎の被害も大きか、たけと、

源爆かおちたおかげで、今アの

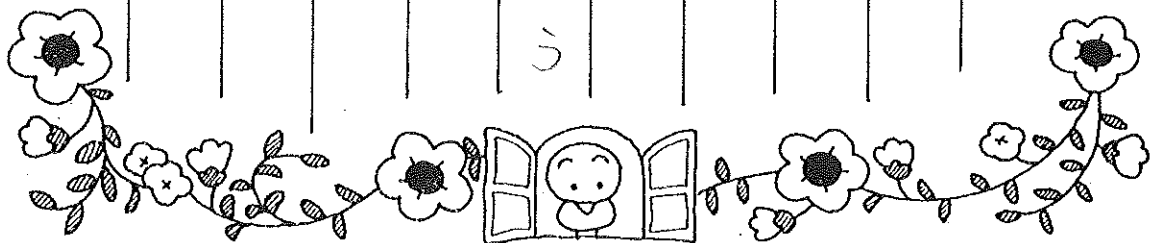
日本があると思ひます。でも、

だからとい、て原爆をおとせば、いいやう

わけではな、これからは、

戦争なしで平和を築けるヤリ方を

見つける必要かあると思ひます



池田眞徳さんへ

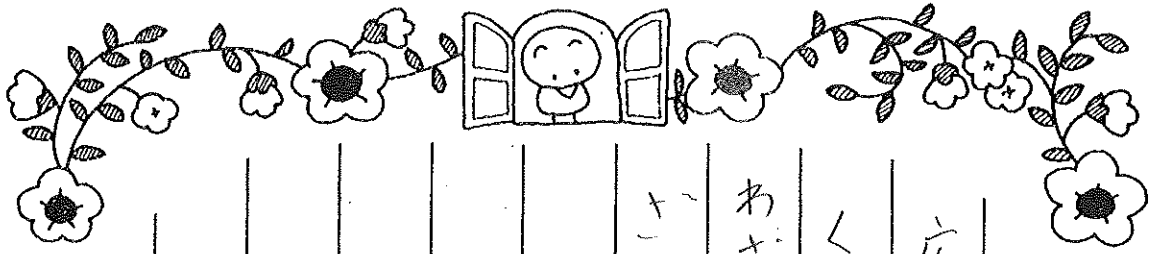
被爆体験者のお話を聞いていろいろ
なことがわかりました。

まず一つ目は、一つの爆だんで多くの人が
かたくなったことがなしいです。

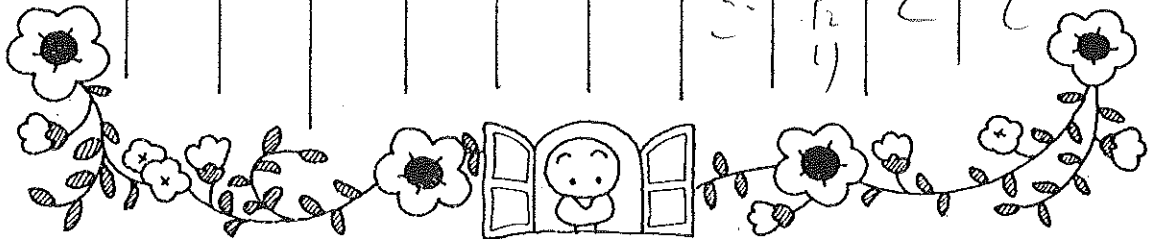
一つの爆だんでおいしい所まで被害をうけること
おしの木までかれてさあるとやけどするく
らいあついということをおしえてくれたことあり
がとうございます。

爆発は地上で爆発させないで上空で爆発させ
るなせかということと上空の方が広いはんにまで

こうけきかできることや地上で爆発させ



さるこ家などのしょうがい物があって
広いほんいに、こうげきできないかうです、と
くわしく旦那後までおしえていたたいたり
おさあさん小に来てくれてありがとうございますこ
さいました。





私は、戦時中の広島や長崎の

悲惨な様子を聞いて、戦争はとても

残酷でおそろしいことだと思いました。

なぜなら、たまた一つの爆弾で多くの犠牲

者が出てくるんだなんてもう二度と起きると

はいけないことだと思いたのと、原爆で

被害にあつて亡くなった人々や生き残っていて

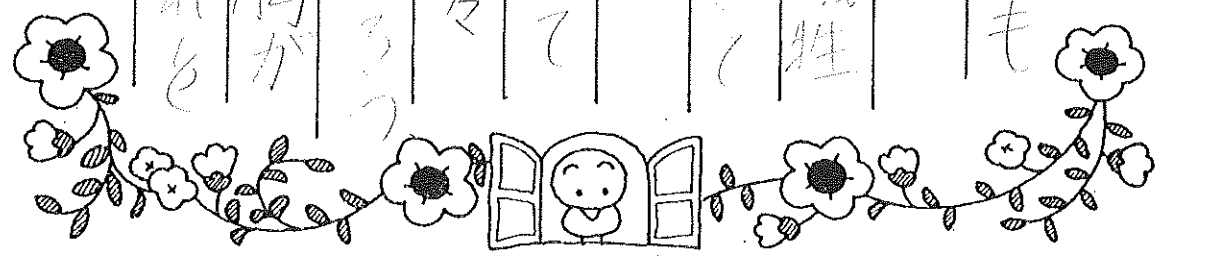
も両親などの大切な人を亡くした人々

はどんなに辛かったろう、苦しかったらう、

非心しかたたらうと考えると、**胸が**

痛むからですでもそのことを聞いてそれを

見た人や体験した人の気持ち





を考えると、私達が想像する

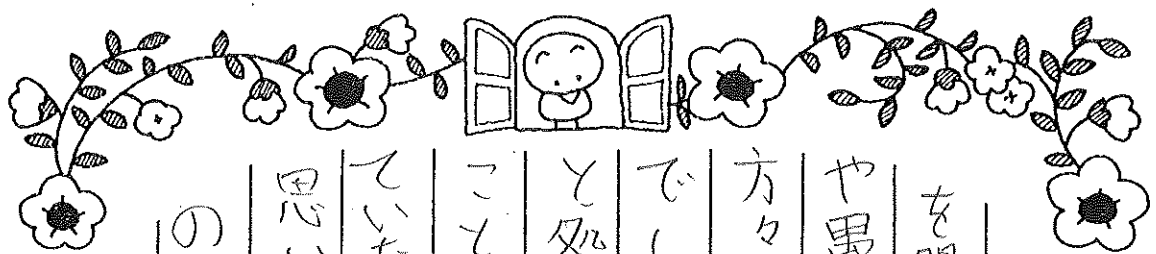
よりとても悲惨だということか

わかりました。なので、この話を一人
でも多くの人々にわかってもらう必要が
あり、そのためには国どうしが協力し
て世界を平和にして、もう二度と戦争
が起きないよう努力をすることと、
私達がさらに戦争のことを理解して
自分の考えを押し付けるのではなく、
色々な人々に伝える努力をすることか
大切だと思います。

立川第九小学校 六年 三組

中川優生

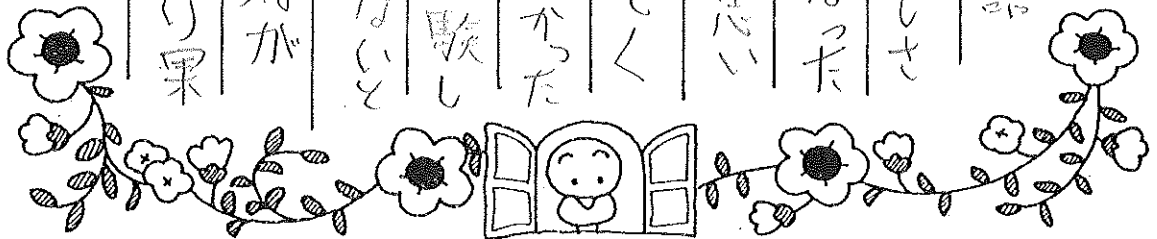





池田さんへ

先日は講演ありがとうございました。貴重な話を

を聞かせていただきありがとうございました。改めて戦争の恐しさや愚かさを実感しました。原爆で犠牲になった方々を想像すると胸がしめつけられるような思いでした。それでも、折り重なる遺体をもくもくと処理していた池田さんのお父さんは、さを恐しなかったことだと思えます。けれども、ぼくは戦争を経験していないので、当時の悲惨さが十分にわかっていないと思います。現状は、さう言い表せないほどの苦痛がのしかかってくるのだと思えます。亦変わり果てた都市の中を歩き続ける被爆者の方々





も、なぜ自分がやられるのかがわからず、
とても悲しかっただろうと思います。
そのうち、戦争の経験者もいなくなっ
てしまいます。二度と、このよう
な大きい失敗をしない
よう、未来の人々にも伝えてい
かなければなら
ないと思います。

どうもありがとうございました。

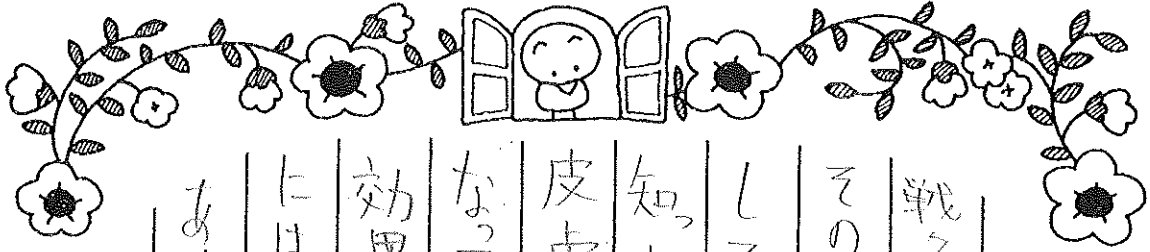
平成二十二年十二月十日

第九小学校六年三組

山石井

裕





まず最初に、池田さんの話を聞いて

戦争は本当に、皮肉だと思いました。

そのころの日本は二十一年に、なるは徴兵として陸軍に入隊させられた。さうに、

知った事は、原爆が落ちると、顔など体の

皮膚がとれて人間には、決して見えない程に、

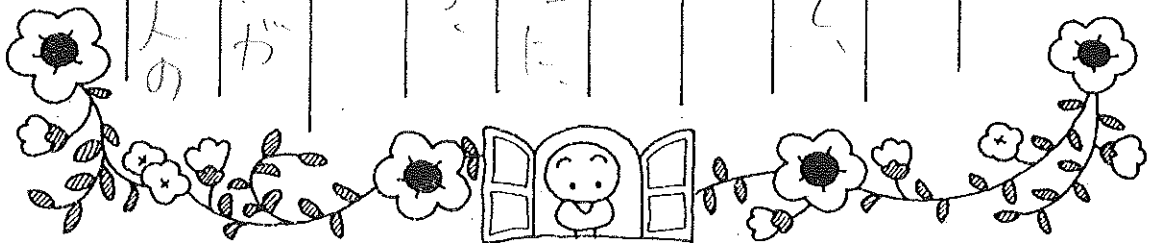
なってしまう事を知りました。原爆には、救々の、

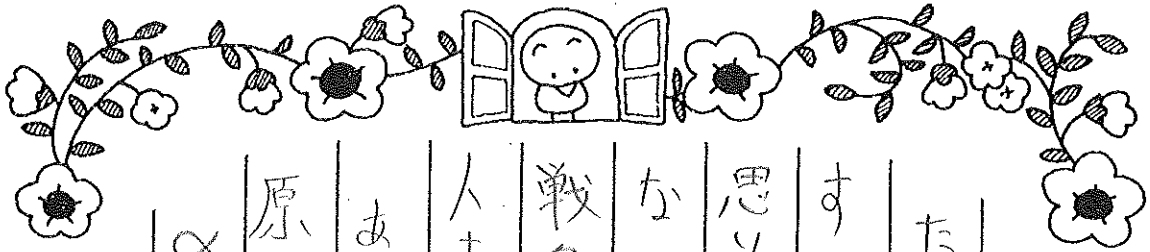
効果が、有ります。まず、放射線という効果が

には、α線・β線・γ線、中性子線という物が

あり、死亡率は、30%だそうです。つまり三人に一人の

人が亡くなるという事です。





ぼくは、今日、始めて、知った事が

たくさんありました。それがうあしかったです。ぼくは、なんで戦争がおこったかと、

思いました。ぼくは、今日、21才で、軍隊に入ら

ないといけないと言っていて、びっくりしました。

戦争の時、池田さんのお父さんが、死にそうな

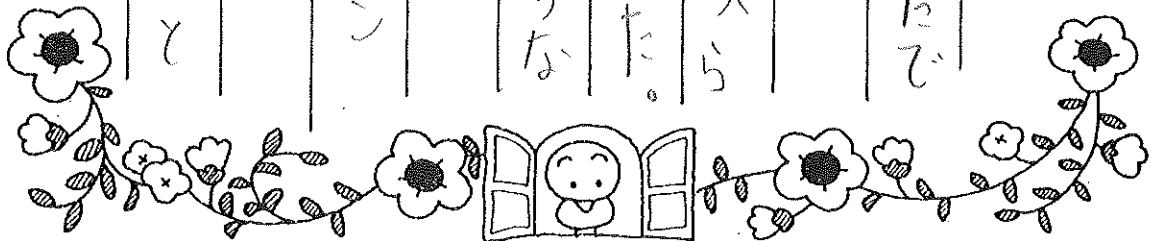
人ちのたすけて、すぞいと思ひました。

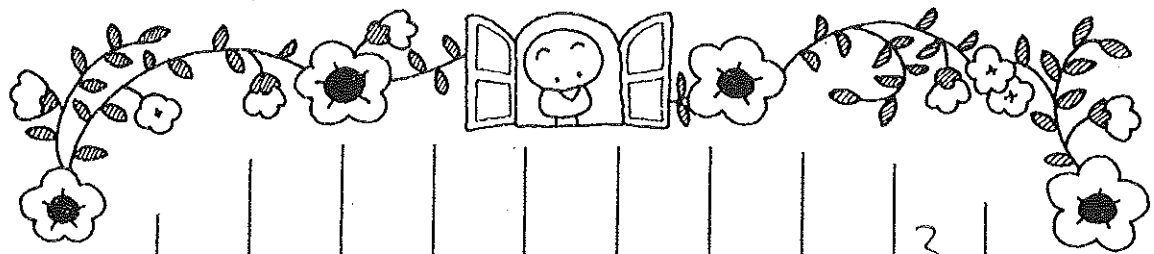
あと、広島に落とされた、原爆は、ウラン

原爆だと知りました。放射線は、

α線 β線 γ線 中性子線があるよ

知って、見えなかりから、ちよっと





このおくなりになりました。今日は、ソラがしりたが、
この時間も来ておちた。ありがとうございます。おちりました。

立川第幾小学校 小高大助

